



スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会会長



a. 陸上競技 少年男子B走幅跳
優勝 清水航己〔秋田西高校〕



b. カヌー競技 成年男子 カヤックシングル
スプリント 優勝 佐々木優〔食彩げんべい〕



県体協90周年記念式典

〔a・b 写真提供：秋田魁新報社〕

contents

- ◎秋田県体育協会 創立90周年記念式典 2
- ◎スポーツ立県あきた応援事業
秋田県体育協会 創立90周年記念トークショー
「スポーツの素晴らしさ！」 3
- ◎秋田県スポーツ少年団 創設50周年記念式典 4
- ◎第5期秋田県中学生強化選手指定証交付式 5
- ◎第68回国民体育大会 スポーツ祭東京2013グラビア 6
- ◎第68回国民体育大会（本大会）入賞者一覧 7
- ◎第68回国民体育大会成績と昨年度比較 8
- ◎秋田国体以降の本県の天皇杯順位・国体得点一覧 9
- ◎第68回国民体育大会
スポーツ祭東京2013入賞者にインタビュー 10
- ◎第68回国民体育大会 スポーツ祭東京2013グラビア 13
- ◎第68回国民体育大会報告会 14

- ◎生涯スポーツ課だより
秋田県総合型地域スポーツクラブ設立状況 16
- ◎いざ、冬の陣！ 17
- ◎強化拠点校紹介
秋田北鷹高等学校 スキー部（クロスカンツリー） 20
花輪高等学校 スキー部（コンパインド） 22
角館高等学校 スキー部（アルペン） 24
- ◎スポーツ科学センターだより
県庁出前講座から見る、県民のスポーツ科学センターへの期待 26
- ◎賛助会員 28
- ◎「スポーツ立県あきた」応援広告 29
- ◎「スポーツ立県あきた」応援キャラクター『スパッキー』グッズ 30
- ◎秋田県体育協会だより 会議録（抄）・編集後記 30



公益財団法人 秋田県体育協会 創立 90 周年記念式典

公益財団法人 秋田県体育協会創立90周年記念式典



平成 25 年 11 月 27 日（水）、秋田市において県体協創立 90 周年記念式典が盛大に行われました。各競技団体・地域体育団体や支援企業の代表者、選手など 380 名が出席し、功績のあった団体、個人を讃えるとともに、100 周年に向けた新たな出発点として、秋田県スポーツの振興と発展のために、責任を自覚し、努力を惜しまず貢献していくことを誓い合いました。

本協会は、大正 12 年 4 月に、「本県体育の振興は、社会人の手で」のスローガンのもと、9 団体で発足しました。以来、90 年の歴史を刻み、今日では加盟団体が 84 を数え、本県におけるスポーツの統一組織として、スポーツ秋田の発展に寄与しています。



鈴木洋一会長の挨拶では、こうした今日までの県体協の歩みと、平成 19 年に開催された「秋田わか杉国体」の成功と感動について触れ、「スポーツの持つ力の大きさを実感した。2020 年の開催が決定した東京オリンピックには本県出身のオリンピックを数多く輩出できるように選手強化にあたりたい」と述べました。

式典では、県体協の運営などに功績のあった 106 団体、135 人を表彰し、ご来賓からは、佐竹敬久県知事をはじめ、能登祐一県議会議長、岡崎助一日本体育協会専務理事より、今後の本県スポーツ振興と県体協の発展のためのお祝いの言葉をいただきました。

引き続き開催された記念祝賀会でも 300 人を超える参加者が集い、県体協 90 年の歩みとこれからの秋田のスポーツについて大いに語り合い、盛会のうちに祝賀会を終えました。



スポーツ立県あきた応援事業 公益財団法人秋田県体育協会 創立 90 周年記念トークショー「スポーツの素晴らしさ！」



公益財団法人秋田県体育協会創立 90 周年記念のトークショーでは、講師として女子の世界最多記録となる 7 回オリンピックに出場した橋本聖子氏、パラリンピック 3 大会連続出場を果たした佐藤真海氏、コーディネーターとして元プロ野球選手でプロ野球史上 20 人目となる公式戦初打席でホームランを放った青島健太氏の 3 名が、「スポーツの素晴らしさ！」を参加者に伝えた。アツという間の 90 分だったが、そのトピックを紹介したい。

アテネ、北京、ロンドンパラリンピックの 3 大会連続出場を果たした佐藤真海氏は、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会プレゼンターとして、私たちに大きな感動を与えた。早稲田大学在学中に骨肉腫を発症し、平成 14 年に右足膝下を切断し、義足の生活となった。「スポーツは人生の縮図のように学ぶことが多い。自分が障害を持つということを受け止め切れずにいた時、アテネパラリンピックに出場し、世界の選手の輝きを見て、自分もしっかりと受け止め、自分に今あるものを大事に、それを最大限引き伸ばしていく生き方をしていこうと、凄く力をもらえた」とスポーツに支えられ、幾度の大きな試練を乗り越えてきた自身の体験談を語った。



【講師】佐藤 真海氏
(サントリーホールディングス株式会社)
宮城県気仙沼市生
仙台育英高校—早稲田大学



【講師】橋本 聖子氏 (参議院議員)
北海道勇払郡早来町(現：安平町)生
駒澤大学附属苫小牧高校
—富士急行株式会社

平成 4 年のアルベールビルオリンピックにおいてスピードスケート女子 1500 M で銅メダルを獲得した橋本聖子氏は、日本オリンピック委員会常務理事のほか、日本スケート連盟会長、日本自転車競技連盟会長、日本知的障害者陸上競技連盟会長を務め、スポーツの普及発展に尽力している。選手時代に腎臓病や B 型肝炎、原因不明の呼吸器系の病気になり、入院や療養生活を余儀なくされた。その時のリハビリの際に障害を持つ子どもたちと出会い、自分の障害をしっかりと受け止め、理解し、さらに明るくがんばっている姿に「私はまだまだ大きな目標に向かっていくチャンスがあるのに、どうしてあきらめていたのだろうか自分が恥ずかしくなった」と、また、「やりたくてもやれなかった僕たちの分もがんばって」という言葉にメダル獲得を約束し、「メダルを取るまでは辞められない。絶対にやれるところまでやろう」という強い意志を持ちながらメダルを獲得するまで 7 回のオリンピックに

挑み続けた過程を話した。

コーディネーターを務めた青島健太氏は、5 年間のプロ野球生活を引退後、オーストラリアへ日本語教師として渡り、そこで知り合った人々との交流を通じて、スポーツの素晴らしさの伝い手となることを決意し帰国、現在はスポーツライター・キャスターとして活躍している。

同氏は、「橋本さんと佐藤さんのお話を聞き、自分の持っている力を世の中に、周りの方に発揮し、その中で自分の人生を作っていくという力をとても強く感じた」と感想を述べ、「素晴らしい伝統をさらに伸ばしていただくとともに、もう一度、今の時代に合う柔軟な姿勢を見直す機会でもあるかと思う」とスポーツライター・キャスターならではの視点から、県体協 90 周年という節目にふさわしい言葉を添えてくれた。



【コーディネーター】青島 健太
(スポーツライター・キャスター)
新潟県新潟市生
県立春日部高校—慶應義塾大学
—東芝—ヤクルトスワローズ



秋田県スポーツ少年団 創設50周年記念式典



県スポーツ少年団は、日本スポ少創設の翌1963年22団体で発足し、現在は833団体で18,384人が活動しています。団員の加入率、指導者資格の保有率は全国上位を維持しており団員が夢や希望を抱き、未来に力強く進んでいけるように、スポ少として一層の飛躍を目指すことを誓いました。

式典前に、にかほ市と男鹿市スポ少の演技(写真)があり、式典後には日本スポーツ少年団本部長の坂本祐之輔氏が「夢を夢で終わらせない」という記念講演をしました。





第5期秋田県中学生強化選手指定証交付式

第5期秋田県中学生強化選手指定証交付式が、平成25年11月24日（日）秋田市において開催された。

本制度は、将来全国規模の大会で上位入賞することができるよう、競技力向上と人間形成を目的とし、秋田県知事、秋田県教育長、秋田県体育協会会長の3者連名で指定するもので、平成23年度から始めた。

今回は、サッカー、剣道、フェンシング、柔道、ラグビーフットボール、ソフトボール、ソフトテニス、卓球、スケート（スピードスケート）の9競技、39名が指定され、現在の指定選手は20競技、計202名となった。堀井副知事から「秋田県から優れた素晴らしい選手を輩出していくためには、中学生の段階から強化をし、夢のある選手に育てていくことが大切である。皆さんが大きく伸びるように精一杯応援していきたい」と激励の言葉の後、猿田湧選手が「秋田県の枠を超え、日本を代表する選手となれるように、目標を高く持って毎日の練習に全力で取り組んできたい」と決意表明した。また、指定選手には、米田教育長からのメッセージ「now or never（今頑張らないと）」とスポーツ立県応援キャラクター「スパッキー」がプリントされた黄色いポロシャツが交付された。

交付式の後は、選手のメディカルチェックとして血液検査及びドクターによる身体検査が行われた。



堀井副知事より指定証の交付



堀井副知事より激励の言葉



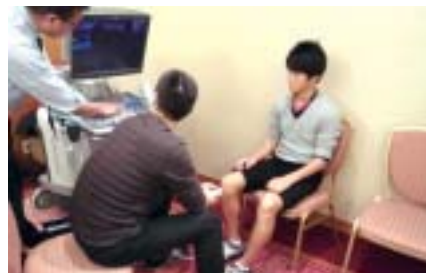
代表決意表明・猿田湧選手
（ラグビー・秋田北中3年）



第5期秋田県中学生強化選手



メディカルチェック（血液検査）



メディカルチェック（身体検査）

◇「秋田県中学生強化選手」として指定された今の意気込みは？（選手）

- ・行動に責任を持ち、強化指定選手として部活のみんなを引っ張って行けるようになる。
- ・他の模範となるように生活面や学習面、すべてのことに最後まで一生懸命取り組む。
- ・秋田県の代表として恥じないように、秋田県の枠を超えて全国でも活躍したい。
- ・強化選手にふさわしい「心・技・体」を兼ね備えた選手を目指したい。

◇アスリートとして大切なことは何ですか？（選手）

- ・感謝の心、礼儀、やる気、元気、ルール、謙虚な心。
- ・絶対に勝つという気持ちとそのための準備。
- ・怪我をしないこと。
- ・競技を通して素晴らしい人間関係を作る。
- ・自分に足りないものは何かを考え、それに対して懸命に取り組む意識。



◇アスリートとしてどんなことを大切にしてもらいたいですか？（保護者）

- ・苦しいことや逆境に出くわしても諦めずそれを乗り越える精神力と、周りの人に対する気配りと感謝の気持ちを忘れない。
- ・一つ一つの積み重ねが結果を生むことを理解して欲しい。トップレベルの成績を常に意識して人一倍努力して私生活でも上を目指すところを持って欲しい。
- ・プレーだけでなく、挨拶や礼儀においても見本になれる選手でいてもらいたい。



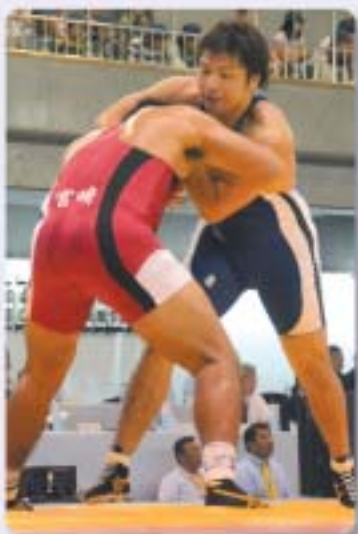
あきた鹿角国体2013の横断幕を掲げ入場行進する本県選手団



【カヌー競技】
成年男子 カヤックシングル15ゲート
2位 佐々木翼〔秋田県体育協会〕



【レスリング競技】成年男子 フリースタイル60kg級
2位 菊地 憲〔セコムグループ(株)〕



【レスリング競技】
成年男子 グレコローマンスタイル
96kg級 3位 大坂 昂〔早稲田大学〕



【自転車競技】
少年男子 1kmタイム・トライアル
4位 大坂栄貴〔大曲農業高校〕



【カヌー競技】少年男子 カヤックシングル500m
3位 佐々木空〔由利高校〕



【相撲競技】成年男子 団体 4位 秋田選抜



第68回 国民体育大会(本大会)入賞者一覧

順位	競技	種別	種目	氏名	所属
1位	カヌーWW	成男	カヤックシングルスプリント	佐々木 優	食彩げんべい
	陸上競技	少男B	走幅跳	清水 航己	秋田西高校1年
2位	カヌーSL	成男	カヤックシングル15ゲート	佐々木 翼	秋田県体育協会
	水泳(競泳)	少男B	100m背泳ぎ	田中 瑛之介	能代第二中学校3年
	レスリング	成男	フリースタイル60kg級	菊地 憲	セコムグループ(株)
3位	カヌースプリント	少男	カヤックシングル500m	佐々木 空	由利高校2年
	レスリング	少男	フリースタイル84kg級	古城 涼真	秋田商業高校3年
	レスリング	成男	グレコローマンスタイル96kg級	大坂 昂	早稲田大学4年
4位	バレーボール	少男		雄物川高校	
	相撲	成男		秋田選抜	
	ウエイトリフティング	少男	85kg級ジャーク	藤田 叡紀	能代工業高校3年
	カヌーSL	成男	カヤックシングル25ゲート	佐々木 翼	秋田県体育協会
	自転車	少男	1kmタイム・トライアル	大坂 栄貴	大曲農業高校3年
5位	剣道	少男		秋田選抜	
	バスケットボール	成男		秋田選抜	
	ボート	成女	舵手つきクォドルプル	秋田選抜	
	フェンシング	成男	フルーレ	秋田選抜	
	ウエイトリフティング	成男	53kg級ジャーク	佐藤 亮哉	名古屋産業大学3年
	自転車	少男	個人ロード・レース(68.2km)	佐々木 文平	大曲農業高校3年
	馬術	少年	馬場馬術	山崎 詩乃	角館高校3年
	レスリング	少男	フリースタイル96kg級	森 合悠我	明桜高校3年
	レスリング	少男	フリースタイル120kg級	伊藤 昌	五城目高校3年
	レスリング	少男	グレコローマン50kg	天野 瑠紀	秋田商業高校3年
	レスリング	少男	グレコローマン74kg	櫻庭 功大	秋田商業高校2年
	レスリング	成男	フリースタイル66kg級	栗森 幸次郎	日本体育大学4年
レスリング	成男	フリースタイル74kg級	宮原 崇	秋田県レスリング協会	
6位	ウエイトリフティング	少男	62kg級スナッチ	齋藤 竜磨	金足農業高校3年
	ウエイトリフティング	少男	94kg級スナッチ	後藤 成哉	能代工業高校3年
	ウエイトリフティング	少男	94kg級ジャーク	後藤 成哉	能代工業高校3年
	陸上競技	成男	やり投	加藤 拓也	中央大学3年
	馬術	少年	自由演技馬場馬術	山崎 詩乃	角館高校3年
7位	ウエイトリフティング	成男	+105kg級スナッチ	腰山 浩汰	金沢学院大学2年
	セーリング	成男	国体シングルハンダー級	齋藤 大輔	美浜株式会社
	陸上競技	成男	10000m競歩	小林 快	早稲田大学3年
	陸上競技	少男A	5000m競歩	榊 涼季	秋田工業高校3年
8位	弓道	成女	近的	秋田選抜	
	クレ射撃	成男	スキート	秋田選抜	
	ウエイトリフティング	成男	105kg級スナッチ	藤原 和朋	能代山本消防
	ウエイトリフティング	成男	105kg級ジャーク	藤原 和朋	能代山本消防
	水泳(競泳)	少男A	100m自由形	三浦 遼	秋田商業高校3年
	カヌースプリント	少男	カヤックシングル200m	佐々木 空	由利高校2年



第68回国民体育大会成績と昨年度比較

・平成25年第68回国体総得点

374.5点+参加点400点=774.5点

天皇杯 39位 皇后杯 42位

・平成24年第67回国体総得点

414.0点+参加点400点=814.0点

天皇杯 36位 皇后杯 33位

	冬季国体	本 国 体	総 合	
第 68回	1 5 6.0	6 1 8.5	7 7 4.5	順位 39位
第 67 回	1 5 4.5	6 5 9.5	8 1 4.0	順位 36位
比 較	1.5	- 4 1.0	- 3 9.5	- 3位

(参加得点含む)

第68回国民体育大会成績

秋田県順位の推移

天 皇 杯

男女総合得点

- ① 東 京 3486.00
- ② 大 阪 1839.50
- ③ 埼 玉 1813.50
- ④ 愛 知 1811.00
- ⑤ 岐 阜 1681.00
- ⑥ 神奈川 1617.83
- ⑦ 千 葉 1524.50
- ⑧ 福 岡 1410.00
- ⑨ 北海道 1330.50
- ⑩ 長 崎 1219.50
- ⑪ 京 都 1197.00
- ⑫ 兵 庫 1183.00
- ⑬ 栃 木 1037.25
- ⑭ 群 馬 1036.50
- ⑮ 広 島 1036.00
- ⑯ 岡 山 1023.25
- ⑰ 長 野 1002.50
- ⑱ 和歌山 990.50
- ⑲ 山 形 974.50
- ⑳ 静 岡 968.75
- ㉑ 宮 城 955.00
- ㉒ 大 分 944.00
- ㉓ 岩 手 943.00
- ㉔ 福 井 938.00
- ㉕ 新 潟 935.50
- ㉖ 愛 媛 932.75
- ㉗ 熊 本 923.50
- ㉘ 石 川 903.00
- ㉙ 茨 城 886.50
- ㉚ 香 川 880.00
- ㉛ 山 梨 856.50
- ㉜ 山 口 848.50
- ㉝ 富 山 842.50
- ㉞ 青 森 840.00
- ㉟ 福 島 816.50
- ㊱ 鹿 児 島 815.50
- ㊲ 奈 良 787.00
- ㊳ 宮 崎 778.00

㊴ 秋 田 774.50

- ㊵ 滋 賀 763.83
- ㊶ 三 重 745.00
- ㊷ 高 知 721.50
- ㊸ 沖 縄 719.50
- ㊹ 佐 賀 651.00
- ㊺ 鳥 取 620.00
- ㊻ 島 根 575.83
- ㊼ 徳 島 536.50

皇 后 杯

女子総合得点

- ① 東 京 1622.00
- ② 大 阪 883.50
- ③ 岐 阜 840.00
- ④ 埼 玉 835.50
- ⑤ 千 葉 834.50
- ⑥ 愛 知 822.00
- ⑦ 神奈川 725.50
- ⑧ 福 岡 721.00
- ⑨ 兵 庫 682.50
- ⑩ 北海道 670.00
- ⑪ 群 馬 602.00
- ⑫ 広 島 599.00
- ⑬ 長 崎 594.00
- ⑭ 栃 木 584.50
- ⑮ 愛 媛 571.00
- ⑯ 長 野 529.50
- ⑰ 山 梨 526.00
- ⑱ 新 潟 525.50
- ⑲ 京 都 519.50
- ⑳ 熊 本 517.50
- ㉑ 静 岡 516.50
- ㉒ 福 井 511.00
- ㉓ 山 形 508.50
- ㉔ 宮 城 493.50
- ㉕ 山 口 490.50
- ㉖ 和歌山 490.00
- ㉗ 岩 手 483.00
- ㉘ 滋 賀 477.00
- ㉙ 大 分 469.50
- ㉚ 鹿 児 島 462.00
- ㉛ 富 山 458.00
- ㉜ 香 川 452.00
- ㉝ 岡 山 447.50
- ㉞ 福 島 445.00
- ㉟ 石 川 442.50
- ㊱ 青 森 434.00
- ㊲ 茨 城 421.50
- ㊳ 佐 賀 397.00
- ㊴ 三 重 383.50
- ㊵ 高 知 382.00
- ㊶ 宮 崎 377.50

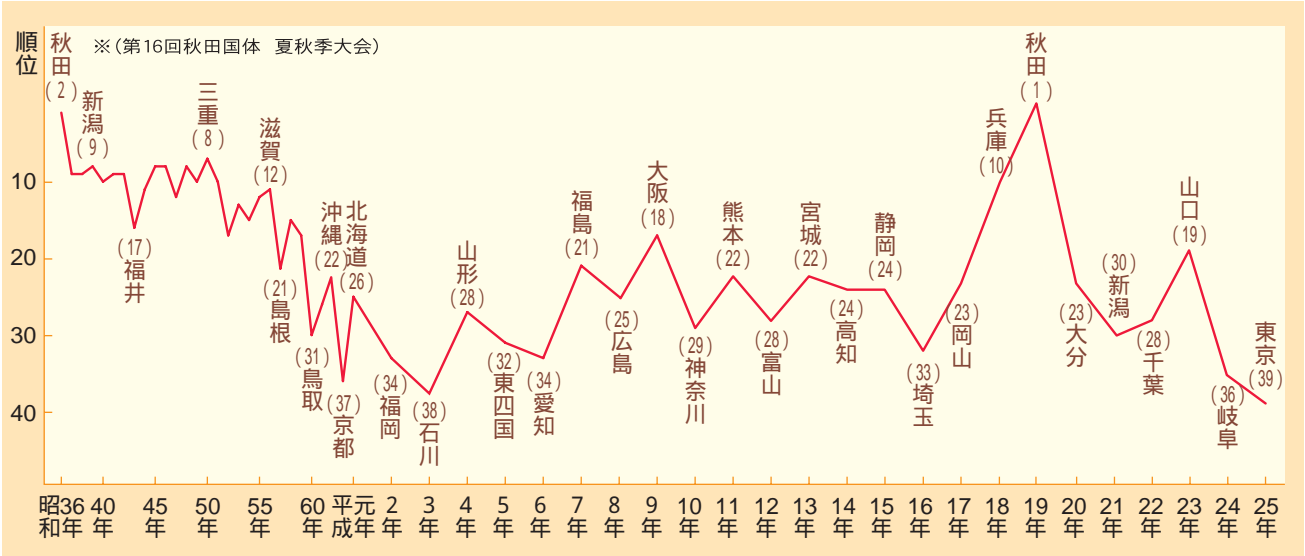
㊷ 秋 田 371.50

- ㊸ 奈 良 365.50
- ㊹ 鳥 取 360.50
- ㊺ 沖 縄 347.00
- ㊻ 徳 島 341.50
- ㊼ 島 根 332.00

回	年	開催地	天皇杯	皇后杯	回	年	開催地	天皇杯	皇后杯
1	21	京 都			35	55	栃 木	13	23
2	22	石 川			36	56	滋 賀	12	13
3	23	福 岡	11	19	37	57	島 根	21	33
4	24	東 京	18	27	38	58	群 馬	16	37
5	25	愛 知	13	29	39	59	奈 良	18	36
6	26	広 島	18	35	40	60	鳥 取	31	25
7	27	東 北	15	36	41	61	山 梨	27	26
8	28	四 国	16	22	42	62	沖 縄	22	27
9	29	北 海 道	17	23	43	63	京 都	37	38
10	30	神奈川	11	19	44	元	北 海 道	26	36
11	31	兵 庫	10	15	45	2	福 岡	34	43
12	32	静 岡	26	23	46	3	石 川	38	46
13	33	富 山	29	21	47	4	山 形	28	39
14	34	東 京	12	16	48	5	東 四 国	32	41
15	35	熊 本	9	10	49	6	愛 知	34	45
16	36	秋 田	2	4	50	7	福 島	21	25
17	37	岡 山	10	12	51	8	広 島	25	44
18	38	山 口	10	14	52	9	大 阪	18	33
19	39	新 潟	9	12	53	10	神奈川	29	42
20	40	岐 阜	11	16	54	11	熊 本	22	42
21	41	大 分	10	17	55	12	富 山	28	38
22	42	埼 玉	10	6	56	13	宮 城	22	34
23	43	福 井	17	24	57	14	高 知	24	33
24	44	長 崎	12	14	58	15	静 岡	24	39
25	45	岩 手	9	6	59	16	埼 玉	33	38
26	46	和歌山	9	4	60	17	岡 山	23	34
27	47	鹿 児 島	13	14	61	18	兵 庫	10	17
28	48	千 葉	9	7	62	19	秋 田	1	1
29	49	茨 城	11	12	63	20	大 分	23	25
30	50	三 重	8	10	64	21	新 潟	30	41
31	51	佐 賀	11	16	65	22	千 葉	28	30
32	52	青 森	18	21	66	23	山 口	19	27
33	53	長 野	14	5	67	24	岐 阜	36	33
34	54	宮 崎	16	12	68	25	東 京	39	42



昭和36年秋田国体以降の本県の実績



国体得点一覧(競技・種別)

種目なし 空欄 出場なし 数値 獲得得点

競技名	64回(新潟県)				65回(千葉県)				66回(山口県)				67回(岐阜県)				68回(東京都)				競技名					
	少年	成年	男女	合計	少年	成年	男女	合計	少年	成年	男女	合計	少年	成年	男女	合計	少年	成年	男女	合計						
スケート(スピード)		4.0	3.0	0.0	7.0			1.0	1.0			9.0	9.0	0.0	6.0	0.0	6.0	0.0	0.0	4.0	4.0					
スケート(フィギュア)					0.0				0.0			0.0	0.0				0.0				0.0					
アイスホッケー					0.0				0.0			0.0	0.0				0.0				0.0					
スキー	17.0	16.0	37.5	6.0	76.5	20.0	26.0	17.0	21.0	84.0	27.0	16.0	58.0	26.0	127.0	32.0	14.0	42.0	30.5	118.5	36.0	15.0	60.0	41.0	152.0	
陸上競技	24.5	11.0	7.0	0.0	42.5	20.0	16.5	0.0	0.0	36.5	9.0	7.0	0.0	1.0	17.0	0.0	8.0	3.0	2.0	13.0	10.0	0.0	5.0	0.0	15.0	
水泳(競泳)	1.0	6.0	3.0	0.0	10.0	8.0	0.0	3.0	0.0	11.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	3.0	0.0	0.0	1.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	8.0	
水泳(飛込)					0.0					0.0					0.0						0.0					0.0
水泳(水球)					0.0					0.0					0.0						0.0					0.0
水泳(シロ)					0.0					0.0					0.0						0.0					0.0
サッカー					0.0			56.0	56.0			56.0	56.0								0.0					0.0
テニス	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0		3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ボート		6.0	0.0		6.0		19.0	0.0	0.0	19.0	0.0	0.0	35.0	35.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	
ホッケー					0.0					0.0			0.0	0.0							0.0					0.0
ボクシング	5.0				5.0					0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.5			0.0				0.0	
バレーボール					0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0		25.0	
体操競技	0.0		0.0		0.0		0.0			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	
新体操		0.0			0.0		0.0			0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	
バスケットボール			0.0	12.5	12.5		12.5			25.0		0.0	0.0		0.0		12.5	40.0	52.5		12.5		0.0		12.5	
レスリング	29.5		14.0		43.5	24.5		18.5	43.0	24.5		13.5	38.0	23.0		10.5		33.5	15.5		17.5				33.0	
セーリング	0.0	0.0	6.0		6.0	0.0	0.0	7.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0		3.0	0.0	0.0	2.0	0.0			2.0	
ウェイトリフティング	3.0		20.0		23.0	13.0		24.0	37.0	36.0		13.0	49.0	1.0		11.0		12.0	14.0		8.0				22.0	
ハンドボール	25.0	0.0	0.0		25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
自転車	10.5		26.5		37.0	7.0		10.0	17.0	9.0		9.0	0.0		1.0		1.0	9.0	0.0		0.0				9.0	
ソフトテニス					0.0		0.0			0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
卓球	0.0				0.0		0.0			0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
軟式野球					0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
相撲	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	25.0		0.0	25.0	35.0		0.0		35.0	0.0		15.0				15.0	
馬術	3.0		2.0	7.0	12.0	9.0		2.0	15.0	26.0	10.0		6.0	15.0	31.0	3.0		5.0	8.0	7.0					7.0	
フェンシング	21.0	12.0	12.0		45.0	0.0	9.0	0.0	15.0	24.0	0.0	24.0	24.0	15.0	63.0	21.0	6.0	21.0		48.0	0.0	12.0			12.0	
柔道	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
ソフトボール					0.0		0.0			0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
バドミントン	0.0			21.0	21.0		0.0	7.5	7.5			0.0	18.0	18.0		0.0	15.0	15.0	0.0		0.0				0.0	
弓道					0.0		15.0		6.0	21.0			0.0		0.0			0.0	0.0	0.0	3.0				3.0	
ライフル射撃			0.0		0.0		3.0	0.0	3.0	7.0		8.0	0.0	15.0	5.0	0.0	3.0	0.0	8.0	0.0	0.0				0.0	
剣道			0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	12.5	0.0				12.5	
ラグビー			44.0		44.0		0.0		0.0			28.0	28.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
山岳			0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
カヌー(SL:WW)			22.0	0.0	22.0		23.0	0.0	23.0			7.0	0.0	7.0		19.0	0.0	19.0	0.0	0.0	20.0	0.0			20.0	
カヌー(FWA)	8.0	0.0	15.0	7.0	30.0		13.0	7.0	9.0	29.0		1.0	13.0	12.0	11.0	37.0	4.0	0.0	12.0	16.0	7.0				7.0	
アーチェリー					0.0				0.0			0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
空手道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
銃剣道			0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
クレー射撃			0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		3.0	3.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	3.0				3.0	
なぎなた	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		18.0		0.0	18.0		0.0	0.0				0.0	
ボウリング			0.0		0.0		6.0	6.0	0.0			0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
ゴルフ	0.0		0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	
小計	147.5	55.0	212.0	53.5	468.0	114.0	98.5	186.5	82.5	481.5	148.5	60.0	237.5	125.0	571.0	127.0	46.0	134.5	106.5	414.0	144.0	15.0	159.0	56.5	374.5	
得点割合(%)	31.5%	11.8%	45.3%	11.4%		23.7%	20.5%	38.7%	17.1%		26.0%	10.5%	41.6%	21.9%		30.7%	11.1%	32.5%	25.7%		38.5%	4.0%	42.5%	15.1%		
少年・成年別得点	219.0		372.5		202.5		265.5		212.5		269.0		208.5		362.5		208.5		362.5		159.0		215.5			
同割合(%)	37.0%		63.0%		24競技		43.3%		56.7%		17競技		44.1%		55.9%		20競技		36.5%		63.5%		18競技			
男女別得点	371.5		220.0		395.5		108.5		300.5		181.0		386.0		185.0		303.0		71.5		80.9%		19.1%			
同割合(%)	62.8%		37.2%		76.8%		23.2%		62.4%		37.6%		67.6%		32.4%		80.9%		19.1%							
天皇杯得点・順位	991.5		23位		868.0		30位		881.5		28位		971.0		19位		774.5		39位							
皇后杯得点・順位	520.0		25位		408.5		41位		471.0		30位		475.0		27位		371.5		42位							



第68回 国民体育大会 スポーツ祭



カヌーワイルドウォーター・スプリント 優勝 佐々木 優

所属 食彩げんべい
出身校 県立大曲農業高校太田分校

Q1 今大会の結果【カヌーワイルドウォーター・スプリント】について感想を聞かせてください。
去年の岐阜国体での失敗で優勝を逃したので、今年こそは絶対に東京国体で優勝をと思い兄からのアドバイスなどもらい優勝できよかったです。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
他の競技で優勝がなかったので、絶対に優勝をするという気持ちで漕いで勝ったのが優勝の決め手だったと思います。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
中盤戦からゴールまでスピードを減速させず進ませるか注意して臨みました。

Q4 お兄さん(翼)はどんな存在ですか？
良きライバル！

Q5 来年度の抱負を教えてください。
来年もこの調子で頑張ります。



カヌースラローム 25ゲート4位 15ゲート2位 佐々木 翼

所属 秋田県体育協会
出身校 秋田経済法科大学

Q1 今大会の結果【25ゲート4位 15ゲート2位】について感想を聞かせてください。
今年夏の海外での宿泊時の骨折からの復帰戦だったため不安がありました。また今回入賞されたほとんどの選手のホームコースであって不利ななかでのこの成績は悪くはないが勝ちたいレースでした。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
勝因というよりは敗因となります。失敗をしないことに意識が集中して思うようにタイムが伸びない結果となりました。特にコース前半では最速ラップでくるものの後半でのミスが目立った。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
第一に心のコントロールを心がけてメリハリのあるレースをして最後まで心に余裕を持ってレースを組み立てる事。

Q4 優勝した弟(優)についてどんな存在ですか？
良きトレーニングパートナーであり良きライバル。

Q5 来年度の抱負を教えてください。
来年度の日本代表選考会にて代表入りしアメリカで行われる世界選手権への出場。
また国体での2種目優勝を目標にさらに精進して頑張りたいと思います。



カヌースラローム・ワイルドウォーター 監督 藤田 芳哉

所属 秋田県カヌー協会

Q1 今大会を振り返り感想をお願いします。
東京都青梅市御岳渓谷のコースは日本のカヌースラロームの発祥の地であり、入賞した佐々木兄弟は毎年このコースで練習しており、この自然コースを熟知していました。また、会場は観光地でもあり、観客が多く選手にとっては、応援が励みになりました。

Q2 優勝まであと一歩でしたがベテランの域にある佐々木翼選手についてどうでしょうか。
現在、日本のカヌースラローム選手上位5名は誰が優勝しても可能性が有る中、25ゲート4位はトップと1.88秒・15ゲート2位は0.51秒であり、年齢的にも良く健闘した。日本のスラローム選手でスラローム技術はトップであり、入賞確実であり、安心して見ていられる。

Q3 最終日に優勝を飾った佐々木優選手についてどうでしたか。
ワイルドウォーター1500では10位でしたが、500スプリントで優勝することができました。本来スラローム選手であり、どうしても1500mはペース配分と持久力が難しいです。スプリントは実は佐々木兄弟は日本で1・2位を取ることが出来ます。激流の中でカヌーの安定した漕ぎとパドルの使い方は他の選手と比べても違いが分かります。

Q4 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
佐々木兄弟はカヌースラロームのスペシャリストであり、国体の競技種目と選手の点数の最大を考えた場合、今回のようなことでした。二年前は逆でした。各競技大会への選征を行い、環境になれさせ、激流コースの流れを読んで、競技中は練習で身に着けたパフォーマンスを行えるように、考えずぎず、楽しんでおく事でスピードとタイミング等の競技パフォーマンスを發揮できるようにする事。

Q5 秋田県を牽引している2人には今後どんな活躍を期待したいですか？
佐々木翼は体協のお世話になっていますが優選手は家業の手伝いをしながら競技を行っています。協会では、競技選手として活躍しながら次の世代に活躍する選手の育成をしてほしいと思っています。



カヌー少年男子スプリント・カヤックシングル(500m)決勝3位 同(200m)決勝8位 佐々木 空

学校名 県立由利高校 2年
出身校 尾崎小学校一本荘東中学校

Q1 今大会の結果【500m 3位、200m 8位入賞】について感想を聞かせてください。
世界選手権出場のためにインターハイの時にいなかった選手も今回の国体には出場していたので、インターハイの時より成績が下がるかもしれないと感じていましたが、できるだけ考えないように心がけました。そして500mの決勝が終わったときには、インターハイの時よりも達成感がありました。自分のライバル全員が同じ決勝にいて、本当の実力で3位に入賞できてとてもうれしかったです。200mも自分が入賞できるとは思っていなかったのですがとても驚きましたが気持ちよく今シーズンを終えることができ良かったです。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
国体の約二ヶ月前から、朝練を始め、夕方練とは質の異なった練習をしてき

ました。そのおかげで500m,200mのどちらにも偏ることなくしっかりと自分の体に合わせる事ができました。国体前の調整をコーチが上手にしてくれておかげで、本番のレースに本当に調子よく臨めたこと、きつい練習をしてきたので負けるわけがないという強い気持ちがこの結果につながったと思います。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
レース前にすごく集中して無言になる選手もいますが、自分ではできるだけ体の良い選手と話すようにしています。そうすることで気持ちも軽くなって体の固さも取れるからです。一人でいる時でもできるだけ楽しいことを考えたり、食べたいものを考えたりしています。

Q4 将来の抱負を教えてください。
自分のカヌー人生は高校時代が最後だと考えています。選手としては競技を離れても、競技役員として今後もカヌーに携わっていきたくと思っています。できれば小さい子供達の指導などにあたりたいと思っています。今まで私を支えてくれた多くの方々や、カヌーという競技に対して何らかの形で恩返しができたらと思っています。



カヌースプリント 指導者 小野 祐佳

所属 県立由利高校(職)

Q1 今大会を振り返り感想をお願いします。
自身が競技を引退し、指導者の立場で初めて臨んだ大会であった。選手のがんばる姿、よるご姿をみて、改めてカヌースプリント競技に魅せられたように思う。

Q2 今大会の佐々木選手についてどうでしたか。
国体本大会以前の今シーズンの順位・タイムから考えると本当にごんばった結果であると思う。私が指導にあたって時間が浅く、いたらないところが沢山あったが、佐々木選手の日々の努力が結果につながったのだと思う。これまでチームには競争相手がない状態でトレーニングを行う場合が多く、また、

指導者側が十分なサポートを行えていなかった現実があった。そのなかで、こまごまよく意欲をもってがんばった、と褒めたい。カヌーを通して培ったものをこれから活かして行ってほしい

Q3 普段からコーチングで気を付けている事があれば教えてください。
選手が主体であり、選手の気持ちや体調を第一に考えること。選手との信頼関係を築くこと。まだ1年も指導を経験していないのでよくわかっていないことの方が多いのが事実。

Q4 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
1日20km以上乗艇トレーニングするために、朝学校に行く前と放課後の1日2部のトレーニングを行った。選手が苦手意識のあった短距離種目については、メニューを1本ずつ集中して行えるものを組んだり、ウエイトトレーニングだけの日を作ったりした。きつい練習をこなし、また良い部分を伸ばすことで、自信の持ったレースができるようになったと思う。



東京2013入賞者にインタビュー



陸上競技 少年男子B走幅跳 優勝

清水 航己

学校名 県立秋田西高校 1年
出身校 仁井田小学校一御野場中学校

Q1 今大会の結果【優勝】について感想を聞かせてください。
中学校から憧れていた全国大会という舞台でこのような結果を残すことができ、正直に嬉しく思います。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
・周囲や他県の選手を気にすることなく自分の跳躍に集中することができたこと。

・1本目の跳躍で記録を残せたこと。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
・平常心で自分の助走や跳躍ができるように心がけること。
・常に1本目の跳躍に集中して競技に臨むこと。

Q4 来年度の抱負を教えてください。
どんな大会でも7m25以上の跳躍ができるように助走・踏切・空中動作・着地の安定度を増す。
全国大会（インターハイ・国体）に出場し、入賞を目指す。



陸上競技 監督

成田 聡

所 属 県立秋田西高校（教）

Q1 今大会を振り返り感想をお願いします。
陸上競技の総監督として今大会に臨み、大会3日目を終えて成年選手の入賞が2つだけという非常に危機感迫る思いで「こうなれば自校の選手で上位入賞を狙うしかない」と密かに思いながら4日目を迎えた。競技当日の朝、本人から昨夜からの腹痛が治らないという申し入れがあり、急遽内科を受診し胃腸炎と診断され痛み止めを処方してもらい会場入りした。しかし、ウォーミングアップ時も痛みが治まらず、途中痛みでうずくまる姿が何度も見られた。このことから早めに勝負をすることが必要と思い1本目の跳躍を集中するように指示し、競技場に送り出した。不安のある中、1本目の跳躍でみごと7m35cmを跳んで優勝することができた。万全を期して臨んだ大会であったが、いろ

いろな波乱があつての優勝なので嬉しさよりも安堵な気持ちの方が大きい。

Q2 普段からコーチングで気を付けている事があれば教えてください。
・普段の生活を大切にすること。
・満足は、向上心を失わせる。

Q3 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
国体決定後の3ヶ月間に3つの大会があり、大会ごとに国体を想定した3本目の跳躍までに国体入賞ラインである6m90から7m00を跳ぶことの課題を課し、それを見事にクリアし自信を持って国体に臨んだこと。国体までの2回の強化合宿において短距離・跳躍コーチから走りのポイントや試合への心構えなどの指導を頂いたことで助走のスピードアップやメンタル面での強化ができたこと。



競 泳 少年B 100m背泳ぎ 準優勝

田 中 瑛之介

学校名 能代第二中学校3年
出身校 能代市立浄城南小学校

Q1 今大会の結果【準優勝】について感想を聞かせてください。
初めての国体で、まずは決勝進出することが目標だったので、準優勝という結果にとてびっくりしているし、うれしかったです。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
1つは周りを気にせず、自分の泳ぎができたことです。もう一つはチームの先輩達やコーチ達のたくさんのサポートのおかげで、自信をもってレースに臨むことができたことです。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
自分に自信をもってレースすることです。今回は、会場入りしてからなかなか調子が上がらず、少し不安でしたが、チームのみなさんのサポートもあり、レース直前にはしっかり切り替えることができました。

Q4 将来の抱負を教えてください。
目標は、7年後の東京オリンピックで活躍することです。今は、毎日練習を頑張って、小さな目標を一つ一つクリアしていきたいです。そして、7年後、最高の泳ぎができるように頑張りたいと思います。



競泳男子 監督

山崎 幸介

所 属 県立秋田北高校（教）

Q1 今大会を振り返り感想をお願いします。
複数入賞を目指し、選手・スタッフ丸となって臨んだ大会でした。入賞者は少年男子2名のみでしたが、両名とも全国の舞台で自己ベストを更新しての入賞という価値あるものだったと捉えています。特に、少年男子B 100m背泳ぎでの田中瑛之介選手の2位入賞は同区分における県勢初の表彰台（3位以内）であり、秋田県チームの応援席が大いに沸き上がりました。チーム全体としては、参加人数こそ決して多くはないものの一人ひとりがそれぞれの役割をきちんと果たすことができました。また、国体は様々なことが「先輩から後輩に受け継がれる場」でもあるのですが、今年も「成年から少年に」や「高校生から中学生に」というような場面が多々見受けられ、各選手にとって実りのある大会だったと感じました。

多く設けながら指導するように心がけています。選手がどのようなことを考えて競技に臨んでいるのかを理解した上で指導したいと考えています。また、選手の調子や競技以外の日常生活での出来事などでも考え方や泳ぎ方は変化しますから、そういう部分にも気付くことができるように観察することも心がけています。

Q2 普段からコーチングで気を付けている事があれば教えてください。
私は高校生の指導がメインなのですが、選手との対話の機会をなるべく

Q3 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
昨年の岐阜国体終了後に今後の強化に向けての会議を持ち、強化スタッフ間で様々な意見を交わしました。その中で新たに打ち出したのが、高体連強化と水泳連盟強化の連携です。昨年11月から12月にかけて強化の軸となる高校生を定期的に強化しました。さらに、高体連強化練習会の参加者の中から5名を選抜し、昨年のインターハイ男子総合優勝校をお願いをして遠征するなど、冬場の強化を図りました。シーズンに入ってからは、例年よりも合宿の回数を増やして夏休み中の練習量を確保することと、各競技会における強化を図るために競技会の在り方を変えたことなどが奏功したと思います。



レスリング競技 成年男子60kg級 準優勝 菊地 憲

所属 セコムグループ (株)
出身校 市立秋田商業高校ー日本体育大学

Q1 今大会の結果【準優勝】について感想を聞かせてください。
1回戦から全日本や学生トップ選手との試合が続いたが、僅差を勝ち取り決勝進出は素直に嬉しい。

Q2 1回戦から苦しい戦いが続きましたが勝因を教えてください。
出勤前や夜勤明けのトレーニングでは、「自分に嘘をつかないこと、妥協しないこと」を心がけた。また、体力づくりに重点をおいて練習したことが結果に結びついたと思う。

Q3 試合に臨む上で意識しているポイントは何ですか？
相手より先に攻める。試合の流れを自分に引き寄せるようにする、また、試合中は集中力を切らさないように意識した。

Q4 社会人として競技を続けて良かったことはなんですか？
学生や専門に競技に打ち込める環境にある人と違い、社会人として普通に仕事をしながらどこまで戦えるかを試すことができ「自分への挑戦」ができる。好きなレスリングを続けさせてくれる職場等に感謝をしながら、仲間の応援を受けて仕事と競技の両立を目指せること。

Q5 来年度の抱負を教えてください。
今後、階級が変更になる。自分の60kgは無くなる可能性もあるので、今までと違う階級に変更してどこまで戦えるか挑戦したい。できれば違う階級でも上位入賞を狙いたい。



レスリング競技 成年男子グレコローマンスタイル96kg級 3位 大坂 昂

所属 早稲田大学
出身校 仙北中学校ー市立秋田商業高校

Q1 今大会の結果【3位】について感想を聞かせてください。
国体は地元で私の事を応援してくれているみなさんに、自分が成長した姿を見せることが出来るチャンスだと思っています。しかし、優勝した姿を見ることが出来なかったのが悔しい思いをしています。優勝をする為に練習してきたので、今大会の結果に満足していません。負けたいという事は、自分の実力不足なので現実を素直に受け入れ、また練習に励みます。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
地元のみなさんに成長した姿を見せたいという気持ちが表彰台にのぼるとい結果に繋がったのだと感じています。

Q3 試合に臨む上で意識しているポイントは何ですか？
負けたくないと思えば思うほど、緊張し、プレッシャーに負けそうになってしまうので、試合を楽しむことを意識しています。

Q4 大学4年間を振り返ってどうでしたか？
毎日が勉強でした。どうやったら強くなれるのか、効率のいい練習法を考へながら競技をすることによって競技レベルが自ずと上がっていったのではないかと感じています。また、今年1年間レスリング部の主将を務めていただきました。チームを仕切るという立場の重みを肌で感じ、とても勉強になりました。支えてくださったスタッフ、OB、同期、後輩には感謝しています。ありがとうございました。

Q5 今後の抱負を教えてください。
大学卒業後もレスリングという競技に本格的に関わっていきます。リオデジャネイロ五輪と東京五輪に日本代表選手として出場し、金メダルを獲得するという夢に挑戦します。大きな夢を叶えるために精進しますので、今後とも応援よろしくをお願いします。



レスリング競技 成年男子 監督 佐藤 貢

所属 秋田市消防

Q1 今大会を振り返り感想をお願いします。
レスリング競技存続と東京五輪の決定も相まって、レスリング会場の盛り上がりも今までにない盛況なものであった。併せて選手個々の今大会に賭ける意気込みも一味違うように思えた。拮抗した試合が多く手に汗を握る試合展開に一喜一憂した。成年選手6名中4名入賞という結果で、昨年度と同程度の成績となり、維持は出来たものの更なる躍進とはならなかった。組合せ等もあったが、入賞できなかった2名も十分上位へ進出できる能力は持っていた。全員入賞も不可能ではないという手応えを掴むことが出来、次年度以降への期待も膨らんだ。

Q2 優勝まであと一歩でしたが準優勝の菊地憲選手についてどうでしたか。
社会人選手であるが、選手として優遇された職場環境ではない中、自らのモチベーションを高めて練習に取り組み、国体に照準を合わせてくれた。1回戦から薄水を踏む僅差をものにし、現役大学チャンピオン等も退け、決勝では地元選手に1点差で惜敗した。どちらに転んでもおかしくない戦いであったが、最後は練習量の差が出たと感じた。今年度の社会人チャンピオンでも

ありポテンシャルの高い選手である事から、まだまだ全日本レベルの大会でも活躍が期待される。今大会は成年最年長の選手として、またキャプテンとして秋田県チームを引っ張ってくれ、心から感謝するとともに、次年度へも期待したい。

Q3 グレコでは厳しい戦いになりました、その中で善戦した大坂選手についてどうでしたか。
準決勝の相手は、今年度の学生選手権決勝で敗れた選手であり、本人も今回リベンジした上で、優勝する事を目指し今大会に臨んだ。本人が一番悔しい思いをしているが、セコンドの務めを果たせなかった監督の責任である。実力のある選手であり、世界選手権・五輪を目指せる逸材でもあるので、課題としているスタンדרレスリングからの攻撃を更に磨き、今後も秋田県の得点源としての活躍に期待したい。

Q4 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
昨年度に引き続き、首都圏の各大学等に練習場所を求め強化合宿に取り組んだ。毎日違う大学を回り、大学生レベルの多種多様な選手と実戦練習をすることで、非常に得るものが大きかった。また、各大学に秋田県出身選手が多く在籍しているため、出向いた際には選手等の分析にも一役買ってくれ、情報交換出来た点は有効ではなかっただろうか。



レスリング競技 少年フリースタイル84kg級 3位 古城 涼真

学校名 市立秋田商業高校3年
出身校 山口大学教育文化学部附属光小・中学校

Q1 今大会の結果【3位】について感想を聞かせてください。
今大会は3位という結果でした。優勝をすることを目指し、これまで練習してきたので悔しさが残っています。この結果は、まだ自分の弱さを実感し、甘えていた部分があったと思います。

Q2 この結果の勝因を教えてください。
技術的な差はまったく無く、練習量の差だと思います。他校には負け

ない練習を積み重ねたことが自信になりました。

Q3 試合に臨む上で注意しているポイントは何ですか？
過去に勝利したり、実績が劣っている相手にも、挑戦者の気持ちを忘れないこと。

Q4 将来の抱負を教えてください。
私はオリンピックを目指し競技を続けていきます。2020年に東京での開催が決定し、自ら日本の代表になり、今までさせてくれた方々に恩返ししたいと思っています。これからの道のりは簡単なものではないと思いますが、自分に厳しく、たくさんの経験を積み重ね、目標に向かって努力していきたいと思っています。



レスリング競技 少年フリースタイル 監督 横山 秀和

所属 市立秋田商業高校 (教)

Q1 今大会の感想
チームに貢献し上位入賞者が多く健闘したが、決勝に進める実力を持っている選手の力を引き出せず、力を発揮できなかったことが悔やまれる。

Q2 普段からコーチングで気を付けている事があれば教えてください。
・練習でやってきたこと出し切り貫いているか・チャンス作りをしているか・予測をしているか・苦しい場面で妥協していないか・次につながることをしているか

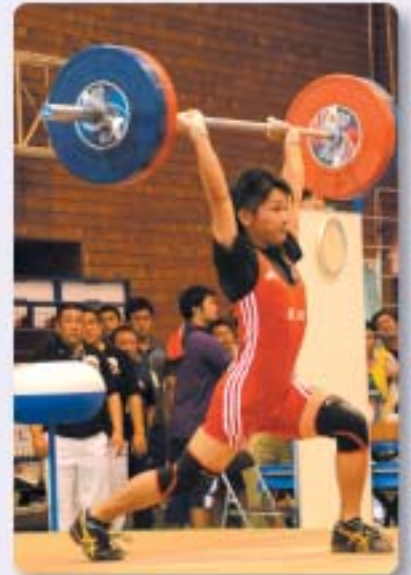
Q3 今大会に向けて工夫したポイント、頑張った強化策等があれば教えてください。
ルールの変更により、寝技の連続が有効になった。連続技の反復、最少失点にする防御、立ち技から寝技への連携を幅広く取り組んだ。



現地激励会 誓いの言葉
少年男子 ラグビーフットボール競技 加藤広人〔秋田工業高校〕



【馬術競技】少年 馬場馬術
5位 山崎詩乃〔角館高校〕



【ウエイトリフティング競技】
成年男子 53kg級ジャーク
5位 佐藤亮哉〔名古屋産業大学〕



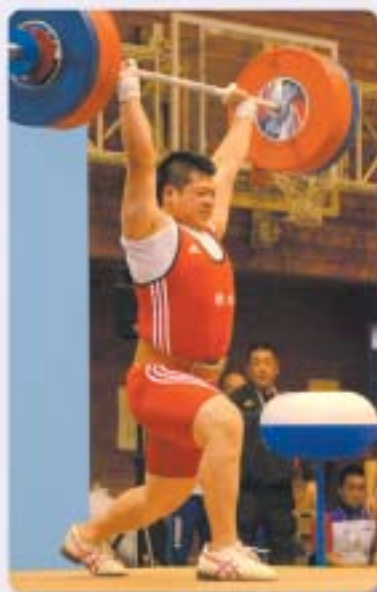
【バレーボール競技】
少年男子 4位 雄物川高校



【フェンシング競技】
成年男子 フルーツ 5位 秋田選抜



【陸上競技】成年男子 1000m競歩
7位 小林 快〔早稲田大学〕



【ウエイトリフティング競技】
成年男子 105kg級ジャーク
8位 藤原和朋〔能代山本消防〕



【弓道競技】成年女子 近的 8位 秋田選抜



●●● 第68回 国民体育大会報告会 ●●●



平成25年11月22日(金)、秋田市において第68回国民体育大会報告会が開催されました。来賓として、齊藤譲県スポーツ振興課長、越後谷真悦保健体育課長、各競技団体から役員、強化担当者など約70名が出席しました。

鈴木洋一会長は挨拶の中で、まず冬季大会について、「スキー競技会では、少年男子リレーの44年ぶり3度目の優勝、女子リレーやクロスカントリー、ジャイアントスラローム、コンパインドなど7種目で優勝を勝ち取り、地元秋田で大いに健闘してくれた。その結果、皇后杯は見事4連覇を果たし、天皇杯は第2位という成績を収めた。またスケート競技においては、成年男子リレーにおいて4位入賞を果たすなど、冬季国体天皇杯第4位という成績で本国体につながることができた」と振り返りました。

また、スポーツ祭東京2013については、「個人種目において、陸上競技少年男子B走幅跳、カヌーワイルドウォーターで優勝を果たしたものの、昨年の天皇杯36位から39位へとさらに順位を下げ、これまでにない不本意な成績となってしまった。県選手団の健闘は称賛に値するが、目標としていた天皇杯順位を大きく下回ったことに対し、本会はもとより、競技団体においても今一度原点に立ち返り、一層の連携のもと真剣に選手強化に努めなければならないと痛感している。特に団体競技において、今一步のところで入賞を逃したことは、その原因を様々な視点から検討し、今後の強化に反映させていかなければならないと思う」と競技団体への奮起を呼びかけました。その後、バレーボール競技、剣道競技、ラグビーフットボール競技の代表者が、それぞれ国体に向けた強化策や成果と課題を述べ、各競技団体との質疑応答が行われました。



国体総監督 國安教善

最後に國安教善総監督(本会副会長)が、「これからの競技力向上に重要なのは、一貫指導体制を確立することである。少年種別が全国でベスト4になれる力を身につけることで国体でも安定した成績を残すことができる。そのためには指導者の意識改革が重要であり、常に意欲を持ち、学ぶ心を忘れず、競技力向上を目指していくことがポイントである。出来ないことを考えるのではなく、やれることを考えてほしい」と国体の総括を行いました。



バレーボール競技



秋田県バレーボール協会 副理事長 舘岡 清秋

今回4位入賞を果たした少年男子について、筋力トレーニングを毎日欠かさず行うことが、体力的にも精神的にも選手個々の質を向上させ、地道な練習の繰り返しが選手の自信になったと考えられる。さらに今年はオリンピック有望の鈴木選手の加入、宇佐美コーチの指導が国体の好成績につながった。今後の課題は有望選手の確保である。

剣道競技



秋田県剣道連盟強化委員長 少年男子監督 湯澤 寛

5位入賞を果たした選手達は、わか杉国体当時小学6年生で、優勝した場面に立ち会っている。その時の光景が選手の精神面にいい影響を与えている。また、当時優勝を経験した選手が現在テクニカルアドバイザーとして指導に関わっていることも大きな要因である。現在は平成27年の全国中学校大会に向けて、小中学生の強化に力を入れている。

ラグビーフットボール競技



秋田県ラグビーフットボール協会 高体連専門部専門委員長 黒澤 光弘

国体で得点を取ることが秋田のスポーツのバロメーターであり、上位入賞を目指して試合に臨んだが敗れたことは残念である。各校から選手を集めオール秋田で強化に取り組み、東北総体では選抜チームの良さが発揮されライバルの宮城に勝つことが出来た。国体では選抜チームの弱点が出た結果となった。選抜チームの強化のためには練習時間の確保が重要である。今後は一貫指導体制が確立されている長崎県を参考にして競技力向上をしていきたい。

国体報告会に出席した競技団体関係者の感想（抜粋）

- ・あらためて指導者の情熱が必要であり、その情熱を持った指導者が先頭となって強化していくことの大切さを感じた。今後の協会等の体制も含め継続できる体制づくりが必要である。
- ・他団体の報告・競技力向上に向けた取組を聞き、本連盟としても抱えている課題である「競技力向上」「スタッフの確保」「普及の活動」に苦勞されていると感じた。部活動での活動が少ない競技団体がこれからどのように活動していくべきなのか考えていきたい。
- ・団体競技から指導者強化のあり方について学ぶことができた。指導者の確保、配置、体制ができていない競技が羨ましく感じた。指導者の適正配置強化の工夫、県体協、県との連携がもっと必要ではないか。
- ・競技は違っても勝っていくために共通な点があり、様々な体験を聞くことができ有意義であった。来年は自分達が報告できるように努力していきたい。
- ・秋田県39位の原因はやはり少年男子、少年女子の成績が良くなかったことだと思う。これを解決するためにはジュニア層の育成強化が必要だということを痛感した。具体的には小中強化、協会母体による強化、力のある選手には経験を積ませるための遠征が必要だと思う。





秋田県総合型地域スポーツクラブ設立状況

(平成25年12月1日現在)

Table with columns for region (地区), current town name (現市町村名), old town name (旧市町村名), and club name (設立済み・設立準備クラブ名). Rows list various clubs across different municipalities like 鹿角市, 小坂町, 大館市, etc.

市町村別設立状況 現市町村別 25/25 旧市町村別 56/69 (準備中クラブを含む)
平成25年度内設立予定 合川・石脇・中仙・協和 4クラブ
平成26年度内設立予定 阿仁・西仙北・仙北市神代地域 3クラブ

総合型地域スポーツクラブに関する 問い合わせ先

公益財団法人秋田県体育協会

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5
TEL 018-864-8094
FAX 018-864-5752

秋田県広域スポーツセンター

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5
TEL 018-864-6225
FAX 018-823-0008



親子たいそう教室



キッズばくてん教室



歩け歩け大会



12月22日開幕の全国高等学校駅伝競走大会を皮切りに、高校生スポーツ冬の陣が開幕する。出場する各高校のチーム状況と大会への抱負を紹介する。

- ・全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 12月23日～12月29日 東京都 東京体育館
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12月27日～1月7日 大阪府 近鉄花園ラグビー場
- ・全国高等学校駅伝競走大会 12月22日 京都府 西京極総合運動公園陸上競技場
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1月5日～1月13日 埼玉県 さいたまスーパーアリーナ
- ・全国高校サッカー選手権大会 12月30日～1月13日 東京都 国立競技場

全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(男子) 能代工業高校(44年連続44回目)



松本大河キャプテン

今年のウインターカップは、能代工高の特徴である気迫あふれる激しいディフェンスから、速い展開に持ち込み、一つのボールを追い続け、自分たちらしさを充分に出していきたい。

今まで一緒に練習をしてきた仲間を信じて、チーム一丸となって戦い、支えてきてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、プレイで表現したい。一戦一戦、全力で戦い抜き、泥臭く自分たちのバスケットボールを東京体育館のコートで発揮して、優勝したいと思います。



佐藤信長監督

能代工業高校は、何度もこの大会で優勝をしている伝統校として位置づけられていますが、5年間、ベスト4以上のステージに上がることができておらず、今大会は「挑戦者」としての気持ちで前面に出して戦いたい。

現在のチームは3年生を中心に、1・2年生の活躍もうまい具合にマッチし、機動力あふれるチームに仕上がってきました。大会はトーナメント戦になるので、1戦1戦気を抜かず戦っていくことは当然ですが、これまで1・2回戦でくすぶっていた分の気持ちを解消させるような勝ち上がりを見せたい。

残りの期間でシュート力にさらに磨きをかけて、粘り強いバスケットボールを見せられるよう、選手と共に頑張っていきたいと思います。



全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(女子) 湯沢翔北高校(5年連続13回目)



阿部優美香キャプテン

県予選大会を優勝というかたちで締めくくられて、ほっとしたのが素直な気持ちでした。この余韻に浸る間もなく、新しい課題の解決に向けて努力しています。インターハイでは最終ピリオドに逆転され、悔しい思いをしました。今は、より厳しい攻防の切り換えと、最後まで戦いきる心身の強さを身につけることが課題です。東京体育館という大きな舞台でも、一人一人が役割を果たし、チームが一体となって戦えるようにしたいと思います。「一戦集中」で臨みます。



樋渡 真監督

この大会は、高校生にとって今年度の集大成の意味を持つ大会であり、質の高いプレーが要求されます。また、東京体育館の独特の雰囲気になげないようなメンタルの準備も大切になります。今年は、春先の主力選手負傷により、早くから下級生中心のメンバー構成になりました。そのため選手個々が体力・技術の両面で底上げを図ることに継続的に取り組んできました。また、チームが目指すマルチプルな攻防のために、1年生に様々な経験を積ませる必要がありました。個人もチームも発展途上であり、安定した力を発揮できていませんが、ゲームの主導権を握ったり、流れを変えたり、勝利を引き寄せるための手段を磨いて本番に臨みたいと思います。一戦集中の精神で、大会ではベスト8に挑戦します。





全国高等学校駅伝競走大会(男子) 秋田工業高校(3年ぶり19回目)



湊谷春紀キャプテン

県予選ではチームが一つにまとまり、全員で駅伝をすることができた。しかし、全国で通用するような結果を得ることができませんでしたので、今まで以上に高い目標を掲げて練習に励みたい。

全国高校駅伝競走大会では、選手全員が持てる力を100%出し切り、いつも支えてくださっている方々や、応援してくださっている方々へ感謝の気持ちを纏に込めて、県記録の更新を目指して秋田工業らしい「粘りのある攻めの走り」で全国の強豪校を相手に戦います。



大友貴弘監督

2013年10月20日、アンカーがゴールテープを切ると同時に、秋工陸上競技部は全国高校駅伝競走大会へ向け第一歩を踏み出した。2年間非常に悔しい思いをしてきた3年生全員が、学校生活や日々の練習に対する考え方を一新、全国高校駅伝入賞を目標に努力してきた。残念ながら全員が全国レベルでの記録や結果を残すことはできなかったが、日々の生活や練習に取り組む姿勢は、1、2年生を大きく成長させる起爆剤となった。

「日頃支えてくださっている方々へ感謝し、走りで恩返しをする」という固い決意を自身の力に変えることができるようになった。絶対的エースはいないが、チームのために与えられた区間に対し責任を持って走る姿勢は、今もなお受け継がれている伝統である。

「当たり前前を当たり前前に」、「目標のないところに努力はなく、目標は夢であってはならない」と選手に語りかけ、更なる成長を促す。3年ぶりの都大路、憧れの地を伸び伸びと駆け抜けたい。

全国高等学校駅伝競走大会(女子) 花輪高校(2年連続7回目)



黒澤志織キャプテン

今年度、チームとしては全国出場を目標としてやってきたわけではなく、県予選が終わってから今でも、更に高いレベルで勝負することを一人ひとりが意識し、練習に取り組んできました。

昨年も10位台を目指し、そこに届かず悔しい思いをしており、その悔しさをぶつけられるのも全国の舞台でしかないと考えているので、チーム一丸となって引かないレースをしたいです。秋田県代表として、都大路で自分たちの駅伝ができるように頑張ります。



佐藤 拓監督

今年度のチームは、誠心誠意努力できる選手が例年以上で、伝統に更なる一步を刻める状態にある。年度当初は雪解けや気温上昇が遅く、グラウンドも5月から使用できる状況であったが、焦らずに先を見ながら練習に努めた。

練習の工夫としては、自主性を重視し、各自での活動時間を増やしながらか練習や試合に合わせる資質を育てた。上級生を中心とした経験者はもちろん、初心者で入部してきた選手にも競い合える力が芽生え、段階を踏みながら各期分けに移行ができ、大きな怪我や体調不良もなくシーズンを送れている。環境が厳しくなるこれからも弱音をはかず、女子記念大会に恥じないレース内容で県最高記録を更新し、来年度にも弾みをつけたい。



全国高等学校ラグビーフットボール大会 秋田工業高校(2年連続65回目)



村井遥介キャプテン

通過点である花園予選を勝ち上がることで、まずは安心していいところです。決勝戦のゲームでは、攻撃面でミスが多く出てしまったことと反則が多かったことに納得はしていません。攻撃面で更に精度を高め、アップテンポでウィングがトライを取るラグビーを意識して練習に取り組みます。目標は全国制覇です。昨年花園で敗退したときから決めていました。昨年の雪辱を果たすとともに、秋工16回目の全国制覇を目指します。



黒澤光弘監督

今年は、『全国制覇』を目標にこれまで取り組んできたアップテンポでボールを動かす攻撃的なラグビーに更に磨きをかけ、これまでよりも縦攻撃(縦への突破)を多用し、縦横無

尽にグラウンドいっぱい使ったラグビーをしてきました。春先は、主力の怪我などで不本意ながら東北選手権を制し、夏の管平遠征ではターゲットを西日本(近畿勢)に絞り、練習試合を重ね確かな手応えを感じてきました。全国大会の優勝争いは、混沌としており、本校もシード校(13校選出)として戦力を高く評価されています。本校ラグビー場が人工芝になり、記念すべきこの年に新たな歴史を作るため、精根を尽くして、闘争心旺盛な秋田工業のラグビーを聖地・花園で展開したい。





全国高校サッカー選手権大会 秋田商業高校(3年ぶり40回目)



安田海斗キャプテン

10月26日に秋田南高校との決勝戦を終え、優勝することができ、全国大会へ行ける喜び、この秋田商業でチームメイトとサッカーができる喜びを今もなお感じている。私たちのチームは、スタミナがあり、前線からの素早いプレスが特徴である。とにかく、守備の意識を高く持ち、リズムを作ることを心がけている。そのために、さらなる走り込みをし、本番への準備をしたい。秋田商業高校サッカー部は、伝統と歴史があり、この大会には40回目の出場となった。その伝統に恥じないよう一戦必勝でがんばりたい。



鎌田修明監督

3年ぶりに本大会へ出場することができた。過去2年は選手権大会はおりかインターハイにも出場することができず、苦渋をなめてきた。今年度、監督に就任するにあたり2つ目標を掲げた。1つは県リーグで1位になること、もう1つは、秋商サッカー部が全国の舞台に再び立つことである。現サッカー部員は、全国大会を全く知らない世代である。彼らが、まだ見ぬ舞台へ上がるために必要なことは、今まで以上の厳しいトレーニングとサッカーの楽しさを忘れないトレーニングの共存であった。県大会準決勝と決勝はまさに、その成果が発揮された瞬間であったと思う。選手権大会では、3年分のがんばりの蓄積をすべて出し切り、一戦必勝でがんばりたい。

全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・男子) 雄物川高校(19年連続19回目)



川村悠希キャプテン

予選を終えて、まずは全国大会への出場切符を取ることができ嬉しく思います。

しかし、決して油断しているわけではなく、ようやくスタートラインに立った気持ちです。今後の練習では、これまで以上に執念の思いを込め、試合同様に緊張感のある雰囲気を持っていきたいと思います。

大会では、日頃から支えて下さる多くの方々への感謝の気持ちを胸に、センターコート目指し一戦必勝で頑張ります。



宇佐美義和監督

今年は、例年以上に高さや攻撃力のあるチームに仕上がっています。それを支える一番の原動力は、日頃のトレーニングによる体づくりです。昨年よりも辛く苦しい内容を耐え抜くことで培われた精神力は、チームにとって大きな自信になっています。

それが形となって表れたのが、インターハイと国体での、フルセットの激闘を戦い抜いた末の数々の勝利です。土壇場の場面でも冷静な頭でプレーするための体力と精神力は、日々の積み重ねによるものだと思えました。

春高は、3年生にとって集大成の舞台です。持てる力のすべてを出し切れるよう、今後も指導にあたることも、国体でつかんだ4位以上を目指し大会に臨む覚悟です。



全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・女子) 由利高校(3年連続25回目)



藤田舞子キャプテン

3年連続春高出場を果たし、もう一度全国の舞台で戦うチャンスは自分達でつかめたことをとても嬉しく思います。そのチャンスを無駄にせず、春高に向けてもう一度気を引き締め、技術面・精神面共に鍛えていきます。由利の気魄と伝統の粘りあるレシーブでベスト8を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。



菅原 清監督

今年のチームは、昨年よりも平均身長が低く、しかもレシーブ力も落ち、絶対的なエースのいない状態である。ライバル校とは最近の試合ではストレート負けをしている。また、ミニ国体では東北第一代表となり、東京国体に出場することができたが、選抜チームであり、3週間での春高県予選会にチームを作らなければならなかった。

そんな中、3年生全員が進路向けの準備もあるにもかかわらず参加した。そして高校生最後の大会で、とても素晴らしい活躍をし、大接戦の末、全てのセット2点差という勝利で3年連続25回目の優勝をできたことは大変うれしいことである。3年生が人間的にも成長し、後輩に3年間の生き様を見せてくれた。後輩はこれをしっかりと受け継いでほしいと思う。

全国大会であるが、北部九州インターハイは1勝のみ、東京国体は初戦敗退ときているので、是非2勝以上を、そして全国ベスト8を目標に挑戦していきたい。

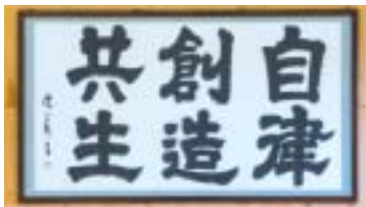


強化拠点校紹介



学校データ

平成23年4月に開校し、今年で3年目となる県立秋田北鷹高校は、県立鷹巣農林高校、県立鷹巣高校、県立米内沢高校、北秋田市立合川高校の4校が統合した北秋田市唯一の高校として、734名（男子379、女子355）の生徒が学んでいる。「自律 創造 共生」を校訓として掲げ、1学年普通科5クラス、農業科2クラスの計7クラスで編成されている。スキー部以外にフェンシング部の強化拠点校にも指定されており、全国大会で活躍している。北秋田市伊勢町1-1



スキー部紹介

インターハイにおいて2度の男子学校対抗優勝の歴史を刻んだ鷹巣農林高校、女子リレー4連覇の歴史を刻んだ米内沢高校両校の伝統を受け継ぎ、新たな歴史を刻み全国に名を轟かせているスキー部は、クロスカントリー、アルペン、ジャンプ・コンバインドの3セクション、計21名で活動している。各セクションの特性上、活動状況は異なるものの一人ひとりがチームの一員としての自覚と誇りを持ち、互いに切磋琢磨しながら日々の練習に励んでいる。統合1年目には、鷹巣農林、米内沢両校の関係者の尽力によってスキー部後援会が発足し、地域住民の温かい支援と声援がさらにスキー部を後押ししてくれる。札幌市で開催された昨年度のインターハイでは、男子リレー3位、女子リレー10位入賞のほか、中嶋愛莉選手（3年）が女子5kmクラシカル5位、女子10km6位入賞を果たしており、今年度もその勢いは健在である。



監督紹介



- 古矢 勝久（ふるや かつひさ）
- 上小阿仁村出身
- 鷹巣農林高校－日本体育大学

統合前の鷹巣農林高校時代には、インターハイで悲願の男子リレー優勝を成し遂げたうえ、2度の男子学校対抗優勝に導いた指導実績を持つ古矢監督は、これまでインターハイ、国体、全国高校選抜、ジュニアオリンピックカップの全国大会において個人種目で7名、延べ13回の全国優勝者を輩出している。「基礎基本の徹底」を大切にしつつ、特に「徹底」というやりきることに重点を置きながら選手一人ひとりに課題を設定し、必要性を説きながら指導にあたっている。また、選手の生活のすべてが競技成績に直結することから、あいさつや礼儀をはじめ、何事にもあきらめず一生懸命取り組むことの大切さも日々伝えている。



「今年度は女子選手の層が厚く、全国的にもトップレベルのチーム力を擁している。インターハイでの女子リレー優勝を大きな目標として掲げ、男子選手も一試合一試合を大切に全国大会で存在感をアピールしたい。いずれも最後はチームの雰囲気が競技結果を大きく左右するため、目標にふさわしいチームづくりに励みたい」と話す監督からは、今シーズンに懸ける意気込みと勝負にこだわる執念が伺える。

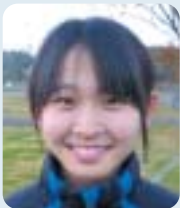


選手コメント



川畑 哲人 (3年)

小学校の頃、陸上競技の先生に勧められたことがきっかけでクロスカントリースキーを始めました。中学時代は競技成績に納得することができなかったのも、もっと力をつけて活躍したいと思い高校でもスキーを続けています。今年度の目標は、インターハイのリレーに出場して入賞することです。あいさつや礼儀、感謝の心を忘れずにがんばります。



中嶋 愛莉 (3年)

私が入学した時は、学校が統合した1年目だったので、自分がスキー部の新しい歴史をつくり、強くしたいと思いました。今年度は、インターハイでの女子リレー優勝と女子学校対抗優勝を最大の目標として、全員が同じ目標に向かって日々練習に取り組んでいます。自己管理を徹底し、昨年度よりも安定した成績を収め、一つでも多く表彰台にあがれるようがんばりたいです。また、感謝の気持ちを忘れず、たくさんの人に応援される選手になれるよう努力していきます。

年間スケジュール

- 4月 残雪トレーニング
- 5月 残雪トレーニング
- 6月
- 7月 夏季強化合宿
- 8月 夏季強化合宿
ローラースキー大会
- 9月 県北高校夏季スキー大会
- 10月 ローラースキー大会
- 11月 冬季強化合宿
- 12月 冬季強化合宿
- 1月 全県高校総体・県民体育大会
- 2月 インターハイ・東北高校選手権大会
国民体育大会・全国高校選抜大会
- 3月 県北高校新人大会・ジュニアオリンピックカップ

練習メニュー

- ・朝練習 7:30～ 8:00
- ・平日 16:00～18:30
- ・土日祝日 8:00～12:00
※第3日曜日→休養日

- 月曜日 休養日
- 火曜日 スピード系トレーニング
ジャンプ系トレーニング
- 水曜日 筋力系トレーニング
- 木曜日 ロングディスタンス系トレーニング
- 金曜日 筋力系トレーニング
- 土曜日 専門トレーニング
- 日曜日 専門トレーニング



コーチ紹介

- 松橋 幸也 (まつはし ゆきや)
- 北秋田市出身
- 鷹巣農林高校ー日本体育大学



松橋コーチは、古矢監督指揮の下、実践的指導者として選手の練習をサポートしている。同コーチは古矢監督の教え子でもあり、鷹巣農林高校時代2年次には、鹿角インターハイにおいて10kmクラシカルで2位入賞を果たし、男子学校対抗優勝にも大いに貢献した。また、3年次には秋田わか杉国体において少年男子リレーの1走を務め、2位入賞の立役者として活躍した戦績を持つ。大学卒業後は自身の競技経験を活かし、秋田県体育協会テクニカルアドバイザーとして活動している。



「今年度は男女ともに活気あるムードで、選手一人ひとりが目標を明確に持って活動している。大会に向けて心も体もより一層鍛え努力してほしい」と選手に対する熱い期待を込めて話す。



強化拠点校紹介



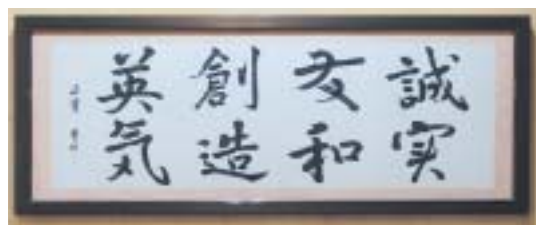
秋田県立花輪高等学校
スキー部 (コンバインド)

学校データ



大正 15 年に創設された花輪町立花輪実科高等女学校を前身とし、昭和 3 年より県立花輪高等女学校となり、23 年には県立花輪高校と改称し現在に至る。「誠実 友和 創造 英気」を校訓に掲げ、「文武両道」を目指した教育が実践されている。生徒数は 429 名 (男子 210、女子 219) で、1 学年普通科 4 クラス編成となっている。運動部の活躍も目覚ましく、今年 10 月の全国高等学校駅伝競走大会県予選会では、女子チームが 2 年連続 7 回目の優勝を果たし、12

月 22 日に京都府で開催される全国大会の切符を手にした。また、オリンピックの松橋暁、浅利純子、松宮隆行、畠山陽輔、小林範仁も同高校の卒業生である。鹿角市花輪字明堂長根 12 番地



スキー部紹介



昭和 25 年に創部されたスキー部は、これまでに全国大会で多数の優勝者及び入賞者を輩出しているスキー界屈指の強豪校である。インターハイ女子学校対抗優勝 3 回をはじめ、昨年度のインターハイでは、男子学校対抗・男子リレーで見事初優勝に輝いたほか、沼森愛奈選手が県勢初となる女子スラローム優勝、湯瀬航大選手がコンバインド優勝を成し遂げた。コンバインド・ジャンプ、アルペン、クロスカントリーの 3 セクションがチームの目標達成に向けて互いに刺激し合い、個々の競技力向上を目指しながらチーム全体の底上げを図り日々努力している。



日本を代表する選手として活躍した松橋暁 (サラエボ)、畠山陽輔 (トリノ)、小林範仁 (ソルトレイクシティ、トリノ、バンクーバー) の 3 名のオリンピック選手も輩出している。

監督紹介



- 大森 敬一 (おおもり けいいち)
- 鹿角市出身
- 花輪高校 - 筑波大学

は全日本スキー連盟ジュニアチーム・コンバインドのコーチングスタッフも務めている。「私生活や学校生活をしっかり送る、努力する、目標を高く持ち挑戦する姿勢を忘れない」ことを指導方針とし、「努力をすれば必ず成功するとは限らないが、成功している人は必ず努力しており、努力をしないとチャンスはやってこない」と話す。

「小山内鴻佑 (2 年) と宮崎翔太 (2 年) とともにジャンプの技術が向上しており、小山内はスペシャルジャンプで、宮崎はコンバインドでそれぞれ全国大会上位入賞を狙える」と意欲をみせている。

今年で同高校在職 20 年目となる大森監督は、これまでインターハイ 5 回、国体 5 回、全国高校選抜 2 回、計 12 回のコンバインドでの全国優勝者を輩出した指導実績を持ち、現在





選手コメント



小山内 鴻 佑 (2年)

昨シーズンの大会では、完全な力不足であることを実感しました。今シーズンのインターハイは花輪スキー場で開催されるので、地元ならではのプレッシャーはあるが、慣れ親しんだジャンプ台で得意としているスペシャルジャンプで優勝を狙っていきたい。



宮 崎 翔 太 (2年)

今年度のチーム目標は、インターハイでの男子学校対抗2連覇です。個人では、コンバインドで3位以内を目指し、チームに貢献したいと思っています。コンバインド後半のクロスカントリーを得意としているが、いつも前半のジャンプで順位を下げているので、確実に順位を上げていきたい。

サマージャンプトレーニングの様子



ジャンプは、急傾斜面を滑降し、踏み切り台から空中に飛び出して、飛距離と飛型を競う競技である。小山内選手と宮崎選手は、「ジャンプを始めた頃は、怖くて跳べずに泣いていた。跳べるようになるまでは1年くらいの時間がかかったが、ジャンプの魅力は数秒ではあるが空中での時間を味わえるところ」とジャンパーならではの体験談を語ってくれた。

年間スケジュール

- 4月 残雪トレーニング
- 5月 サマージャンプトレーニング
- 6月 サマージャンプトレーニング
- 7月 サマージャンプトレーニング
- 8月 夏季強化合宿
- 9月 秋季強化合宿・県北高校夏季スキー大会
- 10月 秋季強化合宿
- 11月 冬季強化合宿
- 12月 冬季強化合宿
- 1月 全県高校総体・県民体育大会
- 2月 インターハイ・国民体育大会
全国高校選抜大会・全日本選手権大会
- 3月 県北高校新人大会・ジュニアオリンピックカップ

練習メニュー

- ・朝練習 8:00～ 8:20
 - ・平日 16:00～18:30
 - ・土日祝日 9:00～16:00
-
- 月曜日 朝：ランニング
放課後：ランニング・補強
 - 火曜日 朝：綱登り
放課後：ランニング・ウエイト
 - 水曜日 朝：ランニング
放課後：休養日
 - 木曜日 朝：補強
放課後：ランニング・補強
 - 金曜日 朝：ランニング
放課後：ランニング・補強
 - 土曜日 ジャンプ・ローラースキー
 - 日曜日 ジャンプ・ローラースキー



強化拠点校紹介



秋田県立角館高等学校 **スキー部** (アルペン)

学校データ

大正14年に開校した県立角館中学校を前身とする県立角館高校は、平福百穂先生の教え「轟々参天、国家棟梁の材」により、「将来社会に貢献する人間」の育成を目指した教育が実践されており、530名（男子264、女子266）の生徒が学んでいる。平成26年度には、県立角館高校の「若杉精神」と、県立角館南高校の「駒草精神」の伝統を受け継ぐ統合校として新しい県立角館高校となることと決定している。今年の夏の甲子園県予選決勝では、延長15回の末惜しくも敗れたものの、26年ぶり4回目の決勝進出を果たした野球部の活躍も記憶に新しく、春の選抜大会の21世紀枠にも推薦されている。

仙北市角館町細越町37番地

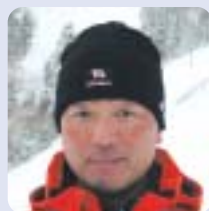


スキー部紹介

平成22年4月に強化拠点校の指定を受け、今年で4年目となるスキー部は、県内はもとより、全国大会においても活躍している。一昨年のインターハイにおいて1年生ながら女子ジャイアントスラロームにおいて10位入賞を果たしたエース下村美緒（3年）が、ナショナルチーム・ジュニアメンバーとして活躍が期待されながら、競技中に靭帯断裂の怪我を負い、今年の鹿角国体をはじめ、その後の大会を欠場せざるを得ない状況となった。しかし、長期にわたるリハビリを乗り越え、高校生最後のシーズンに向けて復活の兆しを見せている。現在は、男子5名、女子5名の10名の部員で活動しており、近年はよりよいトレーニング環境を求め、県外から入部する選手も多い。昨シーズンワールドカップに出場した金子未里（秋田いすゞ自動車）、ナショナルチームメンバーとしてワールドカップに出場している向川桜子（早稲田大学）も同高校の卒業生であり、日本トップレベルの選手として活躍している。



監督紹介



- 藤木 剛（ふじき つよし）
- 仙北市出身
- 角館高校－日本体育大学

今年で同高校在職11年目となる藤木監督は、「全国大会優勝」という明確な目標を掲げ、選手のモチベーションを高めながら指導にあたっている。また、選手がトレーニング内容を自分で考え、組み立て、実践できるように導き、選手の自主性を最大限に尊重する姿勢を大切にしている。「良くも悪くも何事も結果には原因があり、成功させるためには何よりも準備が大切である」と話し、大会において最高のパフォーマンスを発揮するためには、日頃のトレーニングの積み重ねが必要であることを選手に伝えている。これまでインターハイ、国体、全国高校選抜、ジュニアオリンピックカップにおいて多数の優勝・入賞者を輩出した指導実績を持つ同監督は、指導者として常に研究心を持ち、選手とともにさらなる競技力の向上を目指している。



必要であることを選手に伝えている。これまでインターハイ、国体、全国高校選抜、ジュニアオリンピックカップにおいて多数の優勝・入賞者を輩出した指導実績を持つ同監督は、指導者として常に研究心を持ち、選手とともにさらなる競技力の向上を目指している。



選手コメント



伊藤 真 (3年)

これまでのスキー生活を通して、最後まで何があっても諦めないことを学びました。スキーは大自然を満喫し、雪と触れ合うことができるのが魅力の一つだと思っています。とても良い環境の中でトレーニングすることができていることに感謝し、今シーズンは、インターハイと国体に出場して結果を残したいです。



下村 美緒 (3年)

恵まれたトレーニング環境がある角館高校なら心身ともに向上していけると思い、愛知県から秋田県の高校に入学しました。スキーの魅力はスピード感であり、1年間のトレーニングを重ねて100分の1を競うところです。今シーズンはインターハイで入賞し、FISポイント(大会に出場する選手の出場枠や、スタート順を決定するためのシステム)を30点台にすることを目標にしています。

マネージャー

中学時代は、卓球部に所属していた小西さんとバレーボール部に所属していた高橋さん。スキー部の友人に誘われたのがきっかけで高校入学時からマネージャーを務めている「スキーは冬場だけのスポーツというイメージがあったので、夏場にこんなきついトレーニングをしていることを知って最初は驚いた。全国大会で活躍している選手たちのマネージャーができることを誇りに思っている。今シーズンもぜひがんばってほしい」と選手が快適にトレーニングに励めるよう日々献身的なサポートを心掛けている。



小西 百桃 (2年)

高橋 舞花 (2年)

コーチ紹介



- 長沼敬晴 (ながぬま けいせい)
- 由利本荘市出身
- 湯沢商工高校—東洋大学

みならず、監督・選手とのコミュニケーションを大切にしており周囲からの信頼は非常に厚い。「夏場のフィジカルトレーニングを十分にこなしているため雪上での成果が楽しみ」と、シーズンを目前にした選手の順調な仕上がりが具合が伺える。

県体育協会テクニカルアドバイザーの長沼コーチは、東洋大学時代にインカレ男子1部スーパー大回転において優勝を果たした実績を持つ。実践的指導の



年間スケジュール

- 4月 休養期・準備期
- 5月 体力測定
- 6月 トレーニング開始期
- 7月 追い込み前の準備期
- 8月 追い込み期
- 9月 追い込み期
- 10月 追い込み期・完成期
- 11月 遠征
- 12月 遠征・大会
ファーイーストカップ
- 1月 全県高校総体・県民体育大会
- 2月 インターハイ・東北高校選手権大会
全日本ジュニア選手権大会
- 3月 全国高校選抜大会・全日本選手権大会
ファーイーストカップ

練習メニュー

- ・平日 15:50~19:00
- ・昼練習 12:50~13:10
- ・土日祝日 8:15~13:30
- 月曜日 休養日
- 火曜日 LSDトレーニング
ウエイトトレーニング
- 水曜日 インターバルトレーニング
ダッシュ系トレーニング
- 木曜日 スクワットジャンプトレーニング
ウエイトトレーニング
- 金曜日 ジャンプ系トレーニング
- 土曜日 サーキットトレーニング
ウエイトトレーニング
- 日曜日 フィールド系トレーニング



秋田県スポーツ科学センターだより

県庁出前講座から見る、県民のスポーツ科学センターへの期待

秋田県スポーツ科学センター
スポーツ振興班 河村純子

県庁出前講座とは

生涯学習課の事業のひとつ。県民の要請に応じて、県職員自らが講師となって出向き、その担当分野についての旬の情報を提供する。今年度は183の講座があり、内容は「県政全般」「農業」「まちづくり」「国民文化祭」と多岐にわたり、1年間に同じ主催者が同じメニューを申し込めるのは原則1回という制約がある。

当センターは4つの講座があり、講座の実施回数・参加者数も年々増加している（表参照）。毎年要請がある団体の他に、評判を聞いて要請してくる団体が増えている。

年度	回	参加者（のべ）
22	27	1,206
23	40	1,521
24	50	2,471
25	42（10月末現在申込数）	1,947（10月末現在）

（表：県庁出前講座実施回数・参加者数）

各講座の内容と特徴的な取組について

●「あきた元気アップ円熟塾」（スポーツ振興班）

当センターが行っている中高年向けの健康教室として人気があり、出前講座の申し込みも最も多い事業である。内容は「ストレッチ」「簡単筋力トレーニング」を主催者のニーズや集団の体力レベルに応じて、適切な運動を提供している。例年サークル活動からの依頼が多い中、昨年度から介護予防教室からの依頼が増えてきている。今年度は秋田フットボールクラブ株式会社から、ブラウブリッツ（以下BB）の選手が介護施設に慰問する際、入所者とする軽運動を指導して欲しいという依頼を受けた。こちらから介護職員と相談して作った運動内容を選手にレクチャーし、選手がリーダーとして活動した。この流れは、当センターが目指している「スポーツリーダー・指導者の育成」とも合致しており、BBの社会貢献活動とのコラボレーションが実現できたことは、スポーツ活動を行う両者にとって、新しい可能性を見出すきっかけになったと感じている。



●「ウォーキング教室」（スポーツ振興班）

手軽な運動であるウォーキングについて、基礎的な知識や技術を提供している。今年度は各種団体と連携して講座を行ったことが特徴的である。9月は文化振興課・KAMIKOANIプロジェクトとの共同で「八木沢ウォーキング」に講師として参加した。屋外展示のアート作品をガイドの説明を聞きながら、美しく歩こうというテーマで行った。イベントとコラボレーションして行うことで、1つのイベ





ントにたくさんの価値観が組み込まれ、参加者の満足度や関心度は非常に高いものとなった。また、10月には国際教養大学の学生や教職員向けのHealth Weekというイベント週間の「Morning Walk」に参加した。生活が夜型・不規則になりがちな学生の運動習慣の確立、教職員の健康増進を目的とし、朝7時からの開催にもかかわらず、多数の参加があり、運動の必要性を感じている学生（若年層）が多いことがわかった。若年層の運動実施率が低いという本県の現状を考えると、大学からの依頼は積極的に受け入れていくことが必要だと感じた。

●体感メンタルトレーニング（スポーツ医科学班）

メンタルトレーニングを専門的に行っている職員（メンタルトレーニングアドバイザー）が在籍しているのが、県内では当センターのみということもあり、人気の高い講座である。主にスポーツ少年団の



指導者研修や、学校の運動部員を対象とした講習、各競技団体の強化プログラムの一環として活用されている。最近では、保護者を対象にしたメンタルトレーニングの依頼も増えており、昨年度はPTAの講習も実施した。講座の内容はモチベーションを上げる「目標設定」や物事を前向きに考える「プラス思考」などで、スポーツの現場にとどまらず、「仕事のやる気を上げたい」という企業・団体の研修依頼も増えてきている。

●体力向上のためのフィジカルトレーニング（スポーツ医科学班）

すぐに実践できる、怪我をしにくく疲れにくい身体づくりのための基礎的エクササイズが体験できる講座となっている。自分の体重や手に入りやすい運動器具を用いてのトレーニングを紹介している。メンタルトレーニング同様、県内で唯一のフィジカルトレーニングアドバイザーが直接実技指導する講座ということもあり、主にスポーツ少年団や競技団体から依頼を受けている。ライフスタイルの変化に伴い、学童期の筋力や柔軟性、コーディネーション能力が低下傾向にあるといえる。パフォーマンスの向上だけではなく、スポーツ外傷・障害予防のために、指導者に対する正しい知識の伝達やトレーニング法の指導が重要である。また、学童期からの発育発達段階に応じたトレーニングが必要とされてきており、これからますますニーズが高まると予想される講座である。



■スポーツ・健康に対する県民の関心の高まり

出前講座を行うことで、地域の健康課題や指導者の悩みなどが見えてくる。私達の情報収集の機会となっている部分もある。そこで見えてきたのは、「運動・トレーニングの必要性」を感じ、「正しい知識の獲得」を求めている県民が増えているということである。「鍛えた方が良いのはわかっているけど、どのように鍛えたらいいか“方法”がよくわからない」という声が圧倒的に多い。この声に応えることでスポーツの普及・推進につなげていきたい。



平成25年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ 御協力ありがとうございます ～

県体育協会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進に御協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

[法人会員]

- | | | |
|---------------------|-----------------|------------------|
| 秋田信用金庫 | (社)秋田県歯科医師会 | 株式会社NIPPO秋田統括事業所 |
| (株)光輪技研 | 船川臨港運送(株) | 太洋ビル管理株式会社 |
| 羽後日産モーター(株) | 秋田いすゞ自動車(株) | 千代田興業株式会社 |
| 臨海砕石(株) | 一般社団法人秋田県ハイヤー協会 | (株)八郎瀧印刷 |
| 秋田ホーチキ(株) | (株)鹿角パークホテル | (社)秋田県バス協会 |
| 秋田指月(株) | 秋田魁会 | 日本精機(株) |
| (有)雄駿 | (株)サノ・ファーマシー | ロイヤルモーター(株) |
| (株)丸臣高久建設 | 東亜道路工業(株)秋田営業所 | コマツ秋田(株) |
| 清三屋商事(株) | 石垣鐵工(株) | 東北森永乳業(株)秋田工場 |
| (社)秋田県建設業協会 | 秋田運送(株) | 秋田県木材産業協同組合連合会 |
| (株)本間 | (株)竹半 | 奥山ポーリング(株) |
| 秋田白玉工業(株) | (医)久幸会 | 名鉄観光サービス(株)秋田支店 |
| (株)秋田温泉さとみ | わかみハート薬局 | 太平山観光開発(株) |
| 秋田ゼロックス(株) | 文化シャッター秋田販売(株) | コクヨ東北販売(株)秋田支店 |
| (医)青嵐会 | (有)すぐる不動産 | 秋田ステーションビル(株) |
| 秋田県武術太極拳連盟 | (医)回生会秋田回生会病院 | 秋田県障害者スポーツ協会 |
| (有)佐々木製作所 | (株)アテック | (株)ユアテック秋田支社 |
| 大塚製薬(株)秋田出張所秋田支店 | (株)ささき | 全国農業協同組合連合会秋田県本部 |
| (医)慈心会寺田内科医院 | ニプロ(株)大館工場 | (株)秋田ケーブルテレビ |
| 秋田県信用保証協会 | 中田建設(株) | 白神森林組合 |
| AKT秋田テレビ | 奥羽電気設備(株) | ネットヨタ秋田(株) |
| (株)東北ビルカンリ・システムズ | (株)エフエム秋田 | (医)替眞会 |
| みちのくキャンティーン(株)秋田営業所 | (社)秋田県サッカー協会 | 辻不動産株式会社 |
| ルポールみずほ | 東北環境管理(株) | 株式会社友愛ビルサービス |
| 猿田興業(株) | 羽後電設工業(株) | 秋田県柔道連盟 |
| 大堂電機自動車工業(株) | 社会医療法人明和会 | 由利工業株式会社 |
| (株)大同観光 | 一般社団法人秋田県薬剤師会 | 有限会社佐藤養助商店 |
| 医療法人あけぼの会花園病院 | 日本電機興業(株) | 秋田県ソフトボール協会 |
| (株)ルーラル大潟 | (株)黒澤塗装工業 | |
| 秋田県少林寺拳法連盟 | 秋田県バドミントン協会 | |
| (医)弘仁会島田病院 | 伊藤建設工業(株) | |
| ダイドードリンコ株式会社 | 創和技術(株) | |
| (株)男鹿テクノ | 秋田空港ターミナルビル(株) | |
| 堀江建材(株) | タブロス株式会社 | |

[個人会員]

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 秋元 昌貴 | 伊勢 準造 | 細谷孝二郎 | 渡辺 正典 | 滑川 利生 | 佐藤 有一 |
| 西村 悦子 | 熊谷金次郎 | 佐藤卯兵衛 | 齋藤 栄一 | 菅原弥三郎 | 金子 良雄 |
| 尾形 隆 | 奈良 正人 | 安藤 進 | 渡部 聡 | 半田 祐毅 | 田中 忠夫 |
| 米塚善之助 | 中村 六郎 | 宮田 正尅 | 児玉 要 | 池田 正 | |

※申し込み順 ※12月3日受付けまで



私たちは「スポーツ立県あきた」を応援しています

【法人】

株式会社アールシー・テック
 株式会社アイセス
 株式会社アイネックス
 秋田運送株式会社
 秋田活版印刷株式会社
 秋田観光開発株式会社
 秋田キャッスルホテル
 秋田共立株式会社
 株式会社秋田銀行
 株式会社秋田グランドリース
 秋田県厚生農業協同組合連合会
 秋田県自動車販売店協会
 秋田県信用組合
 秋田県信用保証協会
 秋田県中小企業団体中央会
 秋田県農業協同組合中央会
 株式会社秋田国際カード
 株式会社秋田魁新報印刷
 株式会社秋田魁新報社
 株式会社秋田ジェーシーピーカード
 秋田車体株式会社
 秋田新聞輸送
 秋田信用金庫
 秋田ゼロックス株式会社
 株式会社秋田中央機工
 株式会社秋田椿台ゴルフクラブ
 株式会社秋田デンカ
 秋田電話工業株式会社
 あきた保険工房
 株式会社アキタ・ランドシステム
 秋田瀝青建設株式会社
 株式会社アクアス
 あさひ自動車株式会社
 アシックス販売株式会社東北支社
 株式会社アド東北
 株式会社安藤醸造
 有限会社伊藤建設
 医療法人久幸会
 医療法人敬徳会藤原記念病院
 医療法人光智会
 医療法人作左部医院
 医療法人豊盛会
 医療法人明幸会中央線診療所
 医療法人祐愛会加藤病院
 羽後電設工業株式会社
 羽後日産モータ 株式会社秋田店
 AAB秋田朝日放送

AKT秋田テレビ
 NK東日本株式会社
 ABS秋田放送
 NPO秋田RG愛好会
 NPO法人能代市体育協会
 株式会社エフエム秋田
 有限会社奥州食品
 大塚製薬株式会社秋田出張所秋田支店
 大曲仙北地区自家用自動車協会
 株式会社男鹿興業社
 株式会社寒風
 株式会社北日本ベストサポート
 キャタピラー東北株式会社秋田支店
 株式会社グレイスランド
 厚生ビル管理株式会社
 有限会社小西タイヤ
 株式会社サキガケアドバ
 株式会社サキガケ・アド・ブレン
 株式会社さきがけ折込センター
 株式会社さきがけサービス
 株式会社さきがけプラスA
 有限会社佐藤養助商店
 株式会社サノ・ホールディングス
 有限会社沢野自動車
 有限会社三協商事
 三和興業株式会社
 株式会社ジェイエイ秋田葬祭センター
 史跡の里交流プラザ柵の湯
 有限会社俊光建機
 株式会社荘内銀行秋田支店
 株式会社清水組
 東海林武道具店
 株式会社スーパートゥデイ
 株式会社菅与組
 有限会社石心
 積水樹脂株式会社
 株式会社セキト
 株式会社セコ
 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部
 全国農業協同組合連合会秋田県本部
 太平興業株式会社秋田支店
 株式会社太洋石油店
 株式会社大雄建設
 合資会社高橋オイルサービス
 有限会社タカハタ自動車
 有限会社タナカスポーツ
 タプロス株式会社

ツカダ商会
 辻不動産株式会社
 株式会社テーエムシー
 東京美装興業株式会社鹿角事業所
 東北通商株式会社
 東北電材株式会社
 株式会社東北ビルカンリ・システムズ
 株式会社トーカ
 東立有限会社
 株式会社トヨタレンタリース秋田
 中田建設株式会社
 株式会社仲村保険サービス
 西村土建株式会社
 株式会社NIPPO秋田統括事業所
 長谷川体育施設株式会社秋田営業所
 株式会社八郎瀧印刷
 花岡土建株式会社
 ハラダ製茶株式会社
 東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所
 菱明三菱電機機器販売株式会社
 株式会社備品レンタルセンター
 有限会社ファルマーアキタ
 有限会社深沢電装
 株式会社藤通商
 有限会社ふじエンタープライズ
 有限会社ぶんねん自動車
 ベストトラベル大曲営業所
 有限会社ベストモータース
 有限会社PATEK
 株式会社北都銀行
 株式会社松原印刷社
 株式会社マリナー秋田
 有限会社丸ノ内サービス
 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社秋田営業所
 美津濃株式会社盛岡営業所
 三ツ星館
 三本コーヒー株式会社
 むつみ建設株式会社
 むつみ造園土木株式会社
 名鉄観光サービス株式会社
 有限会社桃山
 有限会社もやちゃん食品
 山下商事株式会社
 ユーアイ警備保障株式会社
 ユナイテッド計画株式会社
 鹿前運輸株式会社

【団体】

秋田県空手道連盟
 秋田県建設機械レンタル協会
 秋田県剣道連盟

秋田県石油商業協同組合
 大館地区DOWAグループ
 大曲仙北剣道連盟

光風舎竹半スポーツ
 新あきた農業協同組合

【個人】

石井 政巳 宇賀神 明
 石川 維範 大森 亘
 伊藤キヨエ 小笠原直樹

佐々木岩男 高橋 健一
 佐藤 正雄 殿村碩太郎
 須田 精一 中川 聖子

奈良 正人 宮腰 智也
 早瀬真理子
 船木 隆夫

※あいうえお順 ※12月3日受付まで

「スポーツ立県あきた」を援キャラクター『スパッキー』グッズ

<p>ポロシャツA</p>  <p>■ポロシャツA ¥3,000 ポリエステル65% 綿35% カットソー プリント加工 (スパッキー単色) ※赤はポリエステル100% サイズ:SS~2XO 赤はSS~O</p>	<p>ポロシャツD</p>  <p>■ポロシャツD ¥2,700 ポリエステル100% 刺繍加工 (スパッキー)※ サイズ:SS~2XO</p>	<p>Tシャツ</p>  <p>■Tシャツ ¥1,800 ポリエステル100% プリント加工 (スパッキー単色) サイズ:SS~2XO</p>	<p>スウェットA</p>  <p>■スウェットA ¥4,000 綿100% 刺繍加工 (スパッキー単色) サイズ:S~2XL</p>
<p>スウェットB</p>  <p>■スウェットB ¥4,200 綿100% 刺繍加工 (スパッキー)※ サイズ:S~2XL</p>	<p>ウィンドブレーカー</p>  <p>■ウィンドブレーカー ¥5,500 ポリエステル100% 刺繍加工 (スパッキー)※ サイズ:S~XO</p>	<p>フェイスタオル</p>  <p>¥800 綿100% 34cm×85cm</p> <p>マフラータオル</p>  <p>¥1,000 綿100% 19cm×115cm</p>	

詳細については、秋田県体育協会のホームページ (<http://www.akitaikyo.or.jp>) でご案内しております。

販売店 竹半スポーツ(秋田市) TEL. 018-862-4737 FAX. 018-862-4752

好評
発売中!



車用ステッカー ¥700 8.5cm×21cm



会社用ステッカー ¥900 20cm×50cm

県体協事務局だより

会議録(抄)

10月21日 総務・審査合同委員会
・秋田県体育協会創立90周年記念表彰候補者の審査・選考について

10月31日 第4回総務委員会
・第3回臨時理事会の議案について

10月31日 第3回臨時理事会
・業務執行理事の業務報告について

・第68回国民体育大会の結果について
・秋田県体育協会創立90周年記念表彰について

11月15日 第3回強化委員会
・選手強化対策費補助金について
・今後の強化策について
・第68回国民体育大会報告会について
・秋田県中学生強化選手指定証交付式について
・テクニカルアドバイザーについて



第68回スポーツ祭東京2013が終了し団体の成績が過去最低の39位と低迷しました。そんな中、中学生強化選手が活躍し、強化拠点校制度4年目となる雄物川高校男子バレー部、秋田南高校男子剣道部が国民体育大会において5年ぶりの入賞という成果を残しました。ジュニアからの一貫指導を取り組みスポーツ立県を掲げた秋田としては今後明るい兆しとなりました。また、ブラウブリッツのJ3参入、ノーザンハビネッツの開幕12連勝

などプロスポーツの活躍とともに、これから始まる冬の戦いにおいて夏の雪辱を果たして欲しいと思います。お忙しい中、取材の協力や原稿執筆をいただきました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、御協力ありがとうございました。

編集者 伊藤 栄悦 熊林 孝 新林 美保
安田 竜 菅生 由我

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C. 三本コーヒー株式会社

秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018(865)5461 FAX 018(888)1721

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766

事業内容
会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業承継対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 木村 了
税理士 進藤 俊作

本店/秋田市南通亀の町4番9号 Tel.018-833-4022(代)
山王事務所/秋田市山王七丁目5番32号 Tel.018-863-7868

松田グループ

株式会社 松田 株式会社 湯沢生コン
株式会社 丸栄建設 株式会社 出羽運輸
株式会社 エイコウ物産

本社/湯沢市鶴館39-4 ☎0183-73-0188
URL <http://matsuda-group.jp>



輝きを汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター

アリナス

スポーツ 合宿 研修 … に

アリーナ 宿 泊 室
トレーニングルーム 温泉 スト ラ
温水プール 温泉 泉 浴 場
研修室 (サウナ有)
ミーティングルーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台2番地1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>

美人を育てる秋田米

東年デビュー30周年

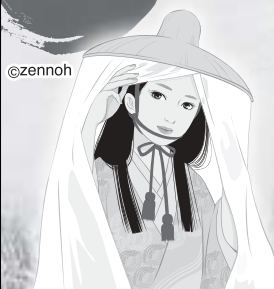
30th

あきたこまち

since 1984 JA

あきたこまち

©zennoh



JA 全農あきた

〒010-8558 秋田市八橋二丁目10-16
TEL018-864-2401

スポーツ安全保険[®]

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険



5名以上の団体で
ご加入ください。

みんなの笑顔で
ガッチリ

安心!

撮影協力：浦和パワースポーツ少年団（埼玉県）

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成25年4月1日午前0時より平成26年3月31日午後12時まで（申込受付は平成25年3月から）

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当り)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (傷・病)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億5000万円 ただし、身体賠償は1人1億5000万円	対象外
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 ◆自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 子どもへのスポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

スポーツ安全協会 <http://www.sportsanzen.org> インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部
(秋田県体育協会内)

〒010-0974 秋田市八橋運動公園 1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL018-883-0360 電話受付時間：午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約)・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)・賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらしみ」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますがご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)

東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課

TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成25年4月予定))

あいあいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動

日新火災 日本興業損保 富士火災 三井住友海上

平成25年1月作成 12-T-09679